

平成28年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の

点検・評価に関する報告書

(平成27年度事業対象)

平成28年8月

宮崎市教育委員会

目次

	ページ
1 はじめに	1
2 教育委員会の活動に関すること	
(1) 平成27年度宮崎市教育委員会活性化プラン	2
(2) 点検・評価シート1	3
3 教育委員会が管理・執行する事務に関すること	
(1) 点検・評価シート2	5
4 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関すること	
(1) 宮崎市教育ビジョン改訂版の概要	9
(2) 宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図	10
(3) 施策の方向性に関連する事業等のポイント化のフロー図	11
(4) 点検・評価の結果	
(ア) 主な施策別の点検・評価の結果表	12
(イ) 主な施策別の点検・評価の前年度評価比較表	13
(5) 基本目標別事務事業点検・評価シート3	
(ア) 基本目標1 学校教育の充実	14
(イ) 基本目標2 教育環境の充実	32
(ウ) 基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	49
(エ) 重点目標 防災教育の充実	62
5 宮崎市教育委員会の総合評価	64
6 委員の意見等	65
7 今後の対応	66
用語解説	67
(*1 のような表記があるものについては、用語解説の中で説明を加えております。)	
宮崎市教育委員会点検・評価会議設置要綱	69

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づいて、教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況について、平成20年度から点検・評価を行っています。

宮崎市教育委員会としましては、これまでも本市の教育の発展のために様々な事業に着手し、その結果等を踏まえて改革に取り組んできたところであります。

政策効果を把握し、必要性、効率性などの観点から自ら評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことでもあります。このような観点から、法の趣旨に鑑み、前年度に引き続き教育委員会が掌握する事務について点検・評価を行いました。

なお、この点検・評価に関する報告様式等については特段の定めがないことから、①教育委員会の活動、②教育委員会が管理・執行する事務、③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等について、①及び②の点検評価については、実績及びそれに基づく総括を行うこととし、また、③教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関しては、第四次宮崎市総合計画後期基本計画との整合性を図り教育を取り巻く社会情勢の変化を反映するために見直された「宮崎市教育ビジョン改訂版（平成26年度～平成29年度）」に掲げる3つの基本目標とそれに関連する20の主な施策、重点目標に関連する平成27年度の事務事業について、点検・評価を行うこととしました。

評価者

宮崎市教育委員会	教育長	二見 俊一
	代表教育委員	松野 隆
	委員	藤元 良一
	委員	崎田 由理
	委員	畠山 利枝
公立大学法人宮崎公立大学	准教授	野崎 秀正（学識経験者）
宮崎市PTA協議会	副会長	尾崎 由有子（学識経験者）

2 教育委員会の活動に関すること

教育委員会の活動に関しては、次頁のとおり、左側の点検項目と平成27年度宮崎市教育委員会活性化プランを対照し、実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 平成27年度宮崎市教育委員会活性化プラン

本市教育委員会では、平成19年1月から毎年度「宮崎市教育委員会改革プラン」を策定し、平成22年4月からは、改革プランをより充実させた「宮崎市教育委員会活性化プラン」を実践することで、教育委員会の活性化に向け、鋭意努力してきました。

また、宮崎市教育振興基本計画である「教育ビジョン」に基づき、地域、学校、家庭との連携に取り組み、毎年度、活性の観点から更なる充実を図っているところです。

平成27年度は、下記のとおり、計画し実施いたしました。

記

1. 新教育委員会制度における教育委員会会議の充実（通年）
2. 教育委員会研修会などの開催（通年）
3. 市長と教育委員会との意見交換会の開催
（平成27年5月・平成28年1月 総合教育会議への出席）
4. 中学生と教育委員会との意見交換会の開催（平成28年1月）
5. 保護者代表と教育委員会との意見交換会の開催（平成28年2月）
6. 教職員と教育委員会との意見交換会の開催（平成27年8月）
7. 教育委員会による教育ビジョン改訂版の進行管理（通年）

(2) 点検・評価シート 1

項目	小項目	点検内容
(1) 教育委員会の活動に関する事	①教育委員会会議の開催回数	宮崎市教育委員会会議規則の定めのとおり、定例会を毎月1回、計12回、臨時会を2回、計14回開催しました。
	②教育委員会会議の運営上の工夫	宮崎市教育大綱策定や会議運営に関する教育委員会勉強会を3回、中学校用教科用図書採択に関する勉強会を1回開催しました。
(2) 教育委員会の会議の公開等に関する事	①教育委員会会議の傍聴者の状況	宮崎市のホームページで毎回委員会の開催案内を広報しました。傍聴者はありません。
	②会議録の公開、広報・広聴活動の状況	会議の議事録の公開請求はありません。 会議の議事は、平成20年度から宮崎市ホームページで公開しています。
(3) 教育委員会と事務局との連携に関する事	情報提供等	事務局から事前に資料提供を受け、各委員とも十分に内容把握の上、委員会に出席し検討を行いました。 事務局から、緊急事案に関する情報提供について、速やかに受けました。
(4) 教育委員会と市長の連携に関する事	宮崎市総合教育会議	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長が招集する宮崎市総合教育会議が2回開催されました。主に宮崎市教育大綱の策定について、また、教育の課題として、いじめの防止や児童生徒の不登校対策について協議がなされました。 第1回宮崎市総合教育会議 期日 平成27年5月28日(木) 場所 宮崎市教育情報研修センター 大研修室 第2回宮崎市総合教育会議 期日 平成28年1月21日(木) 場所 宮崎市教育情報研修センター 大研修室
(5) 教育委員の自己研鑽に関する事	研修会への参加状況	小学校における外国語活動について、外国人講師の授業視察研修を行いました。 期日 平成27年11月10日(火) 場所 潮見小学校
(6) 学校訪問及び各種行事への参加に関する事	①学校訪問等	・学校訪問として、22日間、25校の訪問を行いました。 ・中学生と教育委員会との意見交換会を行いました。 期日 平成28年1月22日(金)

		<p>場所 宮崎市中心公民館 中学生 10 名</p> <p>・保護者代表と教育委員会との意見交換会を行いました。</p> <p>期日 平成 28 年 2 月 22 日 (月)</p> <p>場所 教育委員会室 保護者 5 名</p>
	②各種行事への参加等	<p>防災教育セミナーや第 51 回宮崎市 PTA 研究大会などの行事に参加しました。</p>

<p>教育委員会の活動に関する総括</p>	<p>教育委員会制度改革に伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、市長の主宰する宮崎市総合教育会議が設置されました。総合教育会議では、策定が義務付けられた教育大綱について、また、いじめの防止や児童生徒の不登校対策について、市長と教育委員会が充実した意見交換を行うことができました。また、教育委員会会議の運営等に関することについての勉強会を開催し、教育委員会事務局との意見交換も十分に行いました。</p> <p>その他、主な活動としましては、活性化の観点から毎年策定している「宮崎市教育委員会活性化プラン」に基づいた事業を実施いたしました。「保護者代表との意見交換会」や「中学生との意見交換会」では、保護者や中学生の生の声を聞くことができ、大変有意義な会となりました。</p> <p>更に、通常の活動に加え、5 月末から 12 月にかけて、市内の小中学校の学校訪問を実施し、各現場の実態把握や課題調査に取り組むことができました。</p> <p>今後も、教育委員会の活動や各種教育に関する活動に取り組みながら、教育委員会の資質向上を目指し、努力して参りたいと考えております。</p>
-----------------------	---

3 教育委員会が管理・執行する事務に関すること

教育委員会が管理・執行する事務に関する点検評価に関しては、下表のとおり、左の項目に沿って、教育委員会会議（定例会・臨時会）の議案等を対照させ、実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 点検・評価シート2

項目	小項目	点検内容
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること。	・基本方針の策定	・該当ありません
(2) 教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること。	①経常的なもの	平成27年9月 第12回定例会 ・宮崎市立幼稚園規則の一部改正について 平成27年11月 第14回定例会 ・宮崎市立学校施設の開放に関する規則の一部改正について 平成28年1月 第1回定例会 ・宮崎市立学校管理規則の一部改正について 平成28年3月 第4回定例会 ・宮崎市教育委員会事務局職員の人事評価実施規程の制定について ・宮崎市教育委員会事務委任規則の一部改正について ・宮崎市立小中学校の学校給食業務に従事する非常勤職員の勤務時間及び休暇等に関する規程の一部改正について ・宮崎市立学校管理規則の一部改正について ・宮崎市教育委員会事務局処務規則の一部改正について ・宮崎市教育委員会の権限に属する事務の補助執行規程の一部改正について ・宮崎市公民館処務規則の一部改正について ・宮崎市歴史資料館条例施行規則の一部改正について
	②臨時的なもの	・該当ありません。
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること。	①経常的なもの	【条例の制定並びに改正に関すること】 平成27年5月 第8回定例会 ・宮崎市農村環境改善センター条例の一部改正の原案について

		<p>平成27年11月 第14回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 宮崎市きよたけ児童文化センターの指定管理者の指定について 宮崎市きよたけ児童クラブ施設の指定管理者の指定について 宮崎市交流センター条例の一部改正の原案について【予算・決算に関すること】 <p>平成27年8月 第11回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度一般会計歳入歳出決算の原案 平成27年度一般会計補正予算案の原案 <p>平成28年2月 第2回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度一般会計予算案（教育委員会関係分）について 平成27年度一般会計補正予算案（教育委員会関係分）について 宮崎市歴史資料館条例の一部改正の原案について
	②臨時的なもの	<ul style="list-style-type: none"> 該当ありません
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること。	<ul style="list-style-type: none"> 臨時的なもの 	<ul style="list-style-type: none"> 該当ありません。
(5) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事（県費負担に係る教職員の扶養手当の月額認定、児童手当の受給資格及び額の認定並びに住居手当、通勤手当及び単身赴任手当の月額の決定を除く。）に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動 	<p>平成28年3月 第4回定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> 課長相当職以上の職にある者の人事異動について（教育委員会の充実と活性化を図るため、市長部局との交流を図るなど、市長部局から転入が62名、他部局への転出や昇任等が39名、指導主事の転入が8名の人事異動を行いました。）
(6) 県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> 校長の異動に関する内申 	<p>平成28年3月 第3回臨時会</p> <p>平成28年4月の人事異動に際し、小学校校長28名、中学校校長14名の異動に係る内申を行いました。</p>
(7) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の異動に関する内申 	<p>平成28年3月 第3回臨時会</p> <p>平成28年4月の人事異動に際し、校長を除き小学校229名、中学校135名の異動に係る内申を行いました。</p>

<p>(8) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること。</p>	<p>・委員の選任</p>	<p>各委員の選任について、男女比が偏らないように配慮しながら、審議を行いました。 平成27年5月 第8回定例会 ・宮崎市特別支援教育就学相談委員会委員の委嘱について他4件 平成27年6月 第9回定例会 ・宮崎市立小中学校通学区域審議会委員の委嘱について他3件 平成27年7月 第10回 ・宮崎市青少年指導委員の委嘱について 他1件 平成28年3月 第4回定例会 ・宮崎市いじめ防止対策委員会委員の委嘱について</p>
<p>(9) 教科用図書の新採択の決定に関すること。</p>	<p>・教科用図書の採択</p>	<p>平成27年7月 第10回定例会 ・平成28年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</p>
<p>(10) 通学区域を設定し、又は変更すること。</p>	<p>・通学区域</p>	<p>・該当ありません</p>
<p>(11)文化財を指定し、又は指定を解除すること。</p>	<p>・文化財の指定</p>	<p>平成28年2月 第2回定例会 ・宮崎市指定無形民俗文化財の指定について（高屋神社 神楽）</p>
<p>(12) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること。</p>	<p>・要望書の受理</p>	<p>・該当ありません</p>
<p>(13) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に関すること。</p>	<p>・報告書の公開</p>	<p>平成27年8月 第11回定例会 「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書」を決定しました。 平成27年9月14日付けで宮崎市議会議長に報告書を提出しました。 宮崎市ホームページにて公開しました。</p>
<p>(14) その他重要又は異例と認められる事項</p>	<p>・特別に協議した事項</p>	<p>・該当ありません</p>

<p>教育委員会が管理・執行する事務に関する総括</p>	<p>教育委員会が管理・執行する事務について、議案として提出されたものは事務局に対し質疑を行ったうえで、議案の承認を行うことができました。</p> <p>平成27年度は新教育委員会制度への移行に合わせて、会議のさらなる活性化という観点から、会議の運営方法についての見直しを行いました。事務局からの提案について協議するだけでなく、教育長、教育委員それぞれの気づきや考えについて、自由に意見交換する時間を多く設けました。</p> <p>教育委員会が管理・執行する事務については、概ね順調に推移しています。引き続き、適切な執行に努めていきます。</p>
------------------------------	---

4 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関すること

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務等に関しては、宮崎市教育ビジョン改訂版に沿って、各事務事業の実施状況を点検・評価いたしました。

(1) 宮崎市教育ビジョン（改訂版）の概要

【基本理念】

宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ
感性豊かな「みやざきっ子」の育成

【基本目標】と【重点目標】

基本目標1 学校教育の充実

～『みやざきっ子』を育む学校教育の充実～

- (主な施策)
- 1-1 確かな学力の向上
 - 1-2 生徒指導の充実
 - 1-3 特別支援教育の充実
 - 1-4 体力の向上
 - 1-5 学校保健活動の充実
 - 1-6 地域の歴史に対する認識の向上
 - 1-7 キャリア教育の充実
 - 1-8 国際理解教育の充実

基本目標2 教育環境の充実

～『みやざきっ子』の学びを支える教育環境の整備・充実～

- (主な施策)
- 2-1 教職員の資質向上
 - 2-2 読書活動の推進
 - 2-3 子どもの居場所づくりの充実
 - 2-4 安全でおいしい学校給食の提供
 - 2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進
 - 2-6 学校施設の充実

基本目標3 社会教育・家庭教育の充実

～『みやざきっ子』を地域全体で守り育てる社会教育・家庭教育の充実～

- (主な施策)
- 3-1 開かれた学校づくりの推進
 - 3-2 地域と学校の連携
 - 3-3 体験活動の推進
 - 3-4 次世代の育成
 - 3-5 食育の推進
 - 3-6 公立公民館等の充実

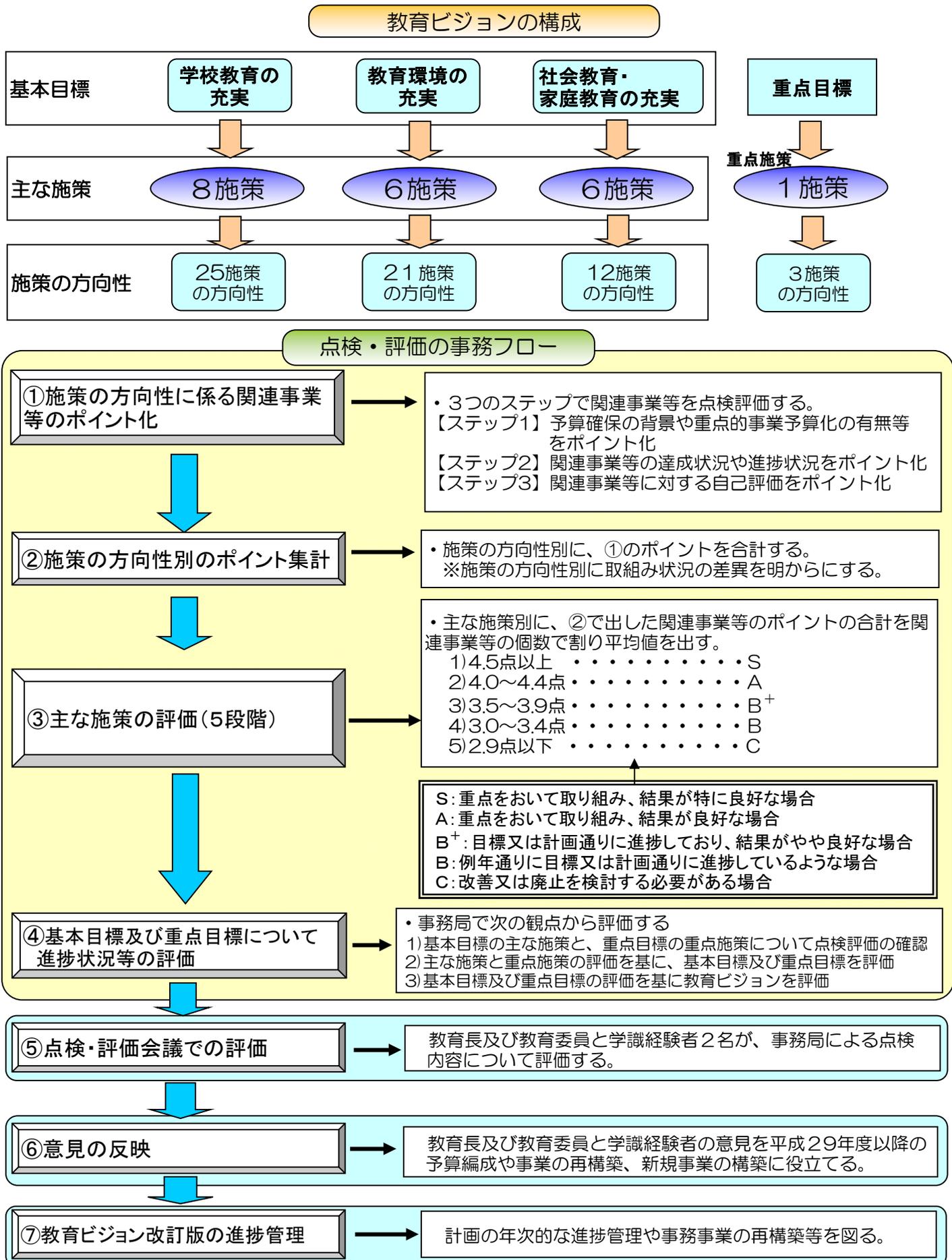
重点目標 防災教育の充実

(主な施策の方向性)

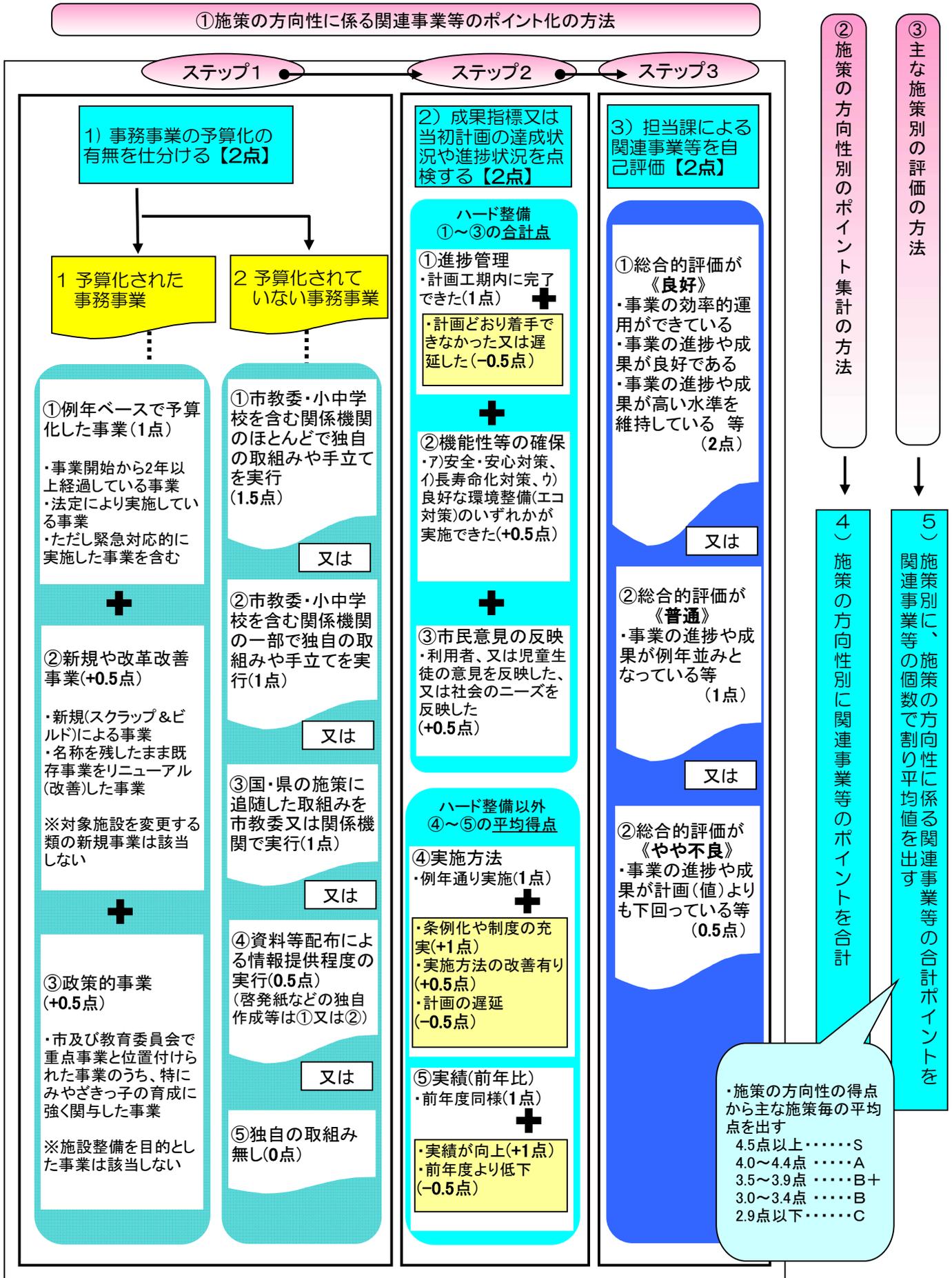
- 重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実
- 重点-2 さまざまな状況を想定した実効性のある避難訓練の推進
- 重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成

(2) 宮崎市教育ビジョンに基づいた点検・評価の事務フロー図

【目的】
教育ビジョンに沿った平成27年度の事務事業等の実施状況、また教育ビジョンの進捗及び達成状況の点検・評価を行う。



(3) 施策の方向性に関する事業等のポイント化のフロー図



・施策の方向性の得点から主な施策毎の平均点を出す

4.5点以上……S

4.0～4.4点……A

3.5～3.9点……B+

3.0～3.4点……B

2.9点以下……C

(4) 点検・評価の結果

(ア) 主な施策別の点検・評価の結果表

基本目標1 学校教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
1-1 確かな学力の向上	3	B ⁺	3.6	32.0	9
1-2 生徒指導の充実	4	B ⁺	3.8	41.5	11
1-3 特別支援教育の充実	4	A	4.1	28.5	7
1-4 体力の向上	2	A	4.0	8.0	2
1-5 学校保健活動の充実	5	B ⁺	3.6	21.6	6
1-6 地域の歴史に対する認識の向上	2	B	3.3	19.5	6
1-7 キャリア教育の充実	2	B ⁺	3.5	7.0	2
1-8 国際理解教育の充実	3	B	3.2	6.3	2
小計又は平均値	25	-	3.6	-	45
基本目標2 教育環境の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
2-1 教職員の資質向上	3	B	3.1	12.5	4
2-2 読書活動の推進	3	B	3.2	42.0	13
2-3 子どもの居場所づくりの充実	2	B ⁺	3.9	15.5	4
2-4 安全でおいしい学校給食の提供	3	B	3.5	14.0	4
2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進	5	B	3.3	26.5	8
2-6 学校施設の充実	5	B ⁺	3.5	34.5	10
小計又は平均値	21	-	3.4	-	43
基本目標3 社会教育・家庭教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
3-1 開かれた学校づくりの推進	2	B	3.3	10.0	3
3-2 地域と学校の連携	2	B	3.1	12.5	4
3-3 体験活動の推進	2	B	3.2	9.5	3
3-4 次世代の育成	2	B	3.2	19.0	6
3-5 食育の推進	3	B	3.0	9.0	3
3-6 公立公民館等の充実	1	B	3.0	15.0	5
小計又は平均値	12	-	3.1	-	24
重点目標 防災教育の充実	主な施策の方向性の本数	評価	平均値(1)/(2)	施策の方向性の得点(1)	関連事業等の個数(2)
重点施策 防災教育の充実	3	B ⁺	3.6	18.0	5
小計又は平均値	3	-	3.6	-	5
計	61	-	3.44	-	117

(イ) 主な施策別の点検・評価の前年度評価比較表

主な施策名	H27年度事業			平均点 対比	H26年度事業		
	順位	評価	平均点		順位	評価	平均点
1-3 特別支援教育の充実	1	A	4.1	←	1	A	4.2
1-4 体力の向上	2	A	4.0	↖	5	B ⁺	3.5
2-3 子どもの居場所づくりの充実	3	B ⁺	3.9	↖	13	B	3.3
1-2 生徒指導の充実	4	B ⁺	3.8	←	3	B ⁺	3.8
1-1 確かな学力の向上	5	B ⁺	3.6	←	4	B ⁺	3.6
1-5 学校保健活動の充実	5	B ⁺	3.6	←	11	B	3.4
重点施策 防災教育の充実	5	B ⁺	3.6	←	2	B ⁺	3.9
1-7 キャリア教育の充実	8	B ⁺	3.5	←	5	B ⁺	3.5
2-4 安全でおいしい学校給食の提供	8	B ⁺	3.5	←	5	B ⁺	3.5
2-6 学校施設の充実	8	B ⁺	3.5	←	5	B ⁺	3.5
1-6 地域の歴史に対する認識の向上	11	B	3.3	←	11	B	3.4
2-5 学習関連施設の利用促進・活用推進	11	B	3.3	←	16	B	3.1
3-1 開かれた学校づくりの推進	11	B	3.3	←	13	B	3.3
1-8 国際理解教育の充実	14	B	3.2	←	5	B ⁺	3.5
2-2 読書活動の推進	14	B	3.2	←	16	B	3.1
3-3 体験活動の推進	14	B	3.2	←	19	B	3.0
3-4 次世代の育成	14	B	3.2	←	19	B	3.0
2-1 教職員の資質向上	18	B	3.1	※ ↖	5	B ⁺	3.5
3-2 地域と学校の連携	18	B	3.1	←	13	B	3.3
3-5 食育の推進	20	B	3.0	←	19	B	3.0
3-6 公立公民館等の充実	20	B	3.0	←	16	B	3.1

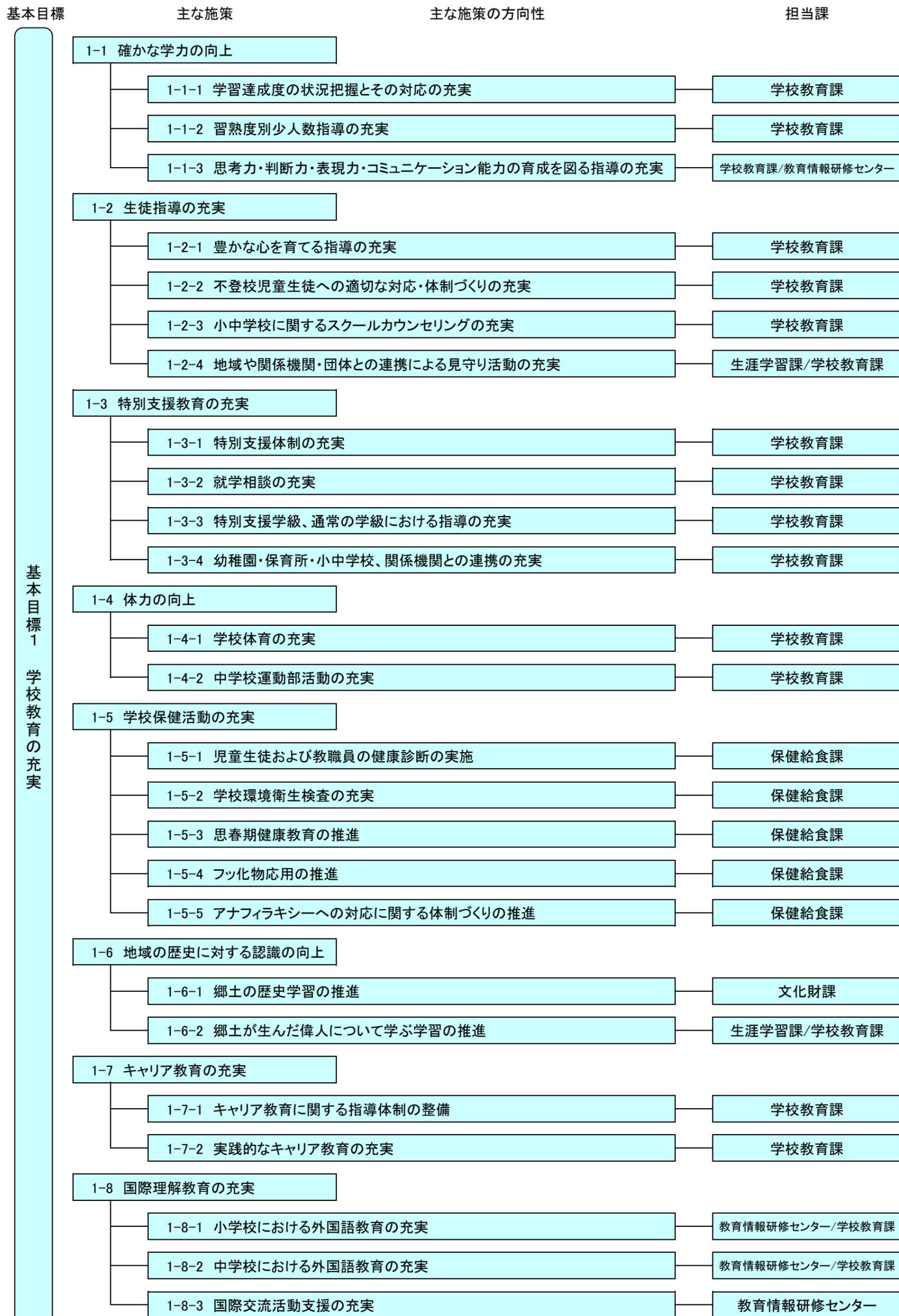
平均点対比で0.4点以上の増減がある場合に矢印に傾きをつけている。

※前年度と同じ水準で推移しており、例年通り事業を実施できている。

(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3

(ア) 基本目標1 学校教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 1 確かな学力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B ⁺	3.6	32.0	9	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標 1	基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導を「おおむね満足」「どちらか」と満足」と回答する保護者の割合【学校教育課】						
進捗状況	非常勤講師を派遣し、学校訪問において指導・助言を行うことにより児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能を定着させる指導力・指導方法の向上を図った。	87.4%	※	※	※	-	100%
指標 2	学校で子どもの学ぶ意欲を高める指導を「行っている」「どちらか」と行っている」とする保護者の割合【学校教育課】						
進捗状況	非常勤講師を派遣し、習熟度に応じた学習を促進させ、子どもの学ぶ意欲の向上に努めた。	73%	※	※	※	-	100%
指標 3	CRT検査 ^{*1} 得点率全国比【学校教育課】						
進捗状況	小中学校における目標値は達成していないものの全国平均(100)を上回っており、昨年度より1ポイントずつ高くなった。	小106 中112	小104 中107	小106 中105	小107 中106	-	小108 中114

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-1 学習達成度の状況把握とその対応の充実	学校教育課	学力充実推進事業	児童生徒の学習の達成状況を把握するために、小学校4年生の全児童・中学校1年生の全生徒に対し、CRT検査を実施しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			108(小) 114(中) ⇒ 107(小) 106(中)	CRT検査の得点率の平均(小:国算2教科の平均、中:国数英3教科の平均)(全国平均を100とする)								
【特筆事項】 成果目標の達成には至っていないが、昨年度のCRT検査の得点率の平均と比べると微増であった。												
1-1-2 習熟度別少人数指導の充実	学校教育課	小学校学力向上支援事業	児童の実態に応じた少人数指導等の学習支援を行うため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	18.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			110(小) ⇒ 107(小)	成果指標は、対象校のCRT検査の得点率の平均(小:国算2教科の平均)(全国平均を100とする)								
【特筆事項】 市費非常勤講師を配置している全ての学校において算数の少人数指導が実施されており、対象校における算数のCRT検査の得点率の平均は110であった。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	小学校学力向上支援事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
【特筆事項】											
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少人数指導推進事業	生徒の学習の習熟度に応じて学級を分け、数学・英語のきめ細かな授業をするために、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			112 ⇒ 106	成果指標は、対象校のCRT検査の得点率の平均(中:国数英3教科の平均)(全国平均を100とする)							
【特筆事項】 成果目標の達成には至っていないが、昨年度のCRT検査の得点率の平均と比べると微増であった。											
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	中学校習熟度別少人数指導推進事業に係る学校訪問	派遣している非常勤講師の活動状況を確認し、必要に応じ指導・助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
【特筆事項】											
1-1-2 習熟度別 少人数指導の充実	学校教育課	「複式授業の緩和」推進事業	複式学級を設置している内海小、鏡洲小、浦之名小の複式授業の緩和を図るため、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.5	1.0	4.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			104(国) ⇒ 107(国) 110(算) ⇒ 99(算)	3校のCRT検査の得点率の平均(国語・算数)(全国平均を100とする)							
【特筆事項】 本事業により、複式授業が緩和され、きめ細かな対応が可能となることから、目標値を上回るなど、効果がうかがわれる。算数科においては、さらなる事業の充実が必要である。											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	小学校教育活動推進事業	小学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、音楽大会や夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,800人 ⇒ 6,777人	作品展に出展した人数や各種コンクール等に参加した児童数の合計								
			【特筆事項】									
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	学校教育課	中学校教育活動推進事業	中学校の教育振興を図るため、学校教育研究会教科等部会への運営補助をはじめ、毛筆・硬筆書道展や英単語コンテスト、夏休み作品展などの各種行事への補助を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2,000人 ⇒ 8,849人	作品展に出展した人数や各種コンクール等に参加した生徒数の合計								
			【特筆事項】									
1-1-3 思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力の育成を図る指導の充実	教育情報研修センター	情報教育推進事業	教育の情報化及び確かな学力の定着を図るために、小中学校に情報教育アドバイザーを派遣したほか、教職員研修の充実を図るなど、ICT*2を活用した学習活動ができるよう支援しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	10.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			80% ⇒ 77%	成果指標は、ICTを活用した学習活動ができる職員の割合								
			【特筆事項】 成果指標は下回っているが、全国及び県の平均値は上回っているため自己評価を1.0とした。									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 2 生徒指導の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B ⁺	3.8	41.5	11	

施策推進のための管理指標の状況

指標	不登校児童生徒の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	不登校児童生徒の学校復帰に向けて、児童生徒や保護者との信頼関係を確立するために、学校と6つの適応指導教室*3、宮崎市教育相談センターとの連携を図りながら取り組んでいる。	1.2%	1.4%	1.28%	1.29%	-	0.97%
指標	適応指導教室に通級する不登校児童生徒の学校復帰率(一部復帰を含む)【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	6つの適応指導教室において、児童生徒の状況に応じた学業指導や体験活動等の指導を通して、通級する児童生徒の学校復帰を支援している。	62%	83%	57%	42%	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-1 豊かな心を育てる指導の充実	学校教育課	いじめ防止対策推進事業	「宮崎市いじめ防止基本方針」に基づき、「宮崎市いじめ防止対策委員会」や各学校の中心となる教職員を対象としたリーダーセミナーを実施し教職員の資質向上を図りました。	1.5			1.0	2.0	4.5	9.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	成果指標は、リーダーセミナーに参加した学校数								
【特筆事項】 いじめを未然に防止するため、教職員の資質向上を図るリーダーセミナーを実施するとともに、全小中学校において「学校いじめ防止基本方針」が作成された。												
1-2-1 豊かな心を育てる指導の充実	学校教育課	魅力ある学校づくり調査研究事業	宮崎中学校を拠点校とし、校区内の3小学校と連携し、不登校やいじめ等の未然防止につながる授業づくりや集団づくりを進める、魅力ある学校づくりの調査研究を実施しました。	1.5			1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
【特筆事項】 小中が連携した取組はもちろんのこと、小小の連携による取組が行われることで、中学校へ進学する際の児童や保護者の安心感につなげることができた。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	不登校児童生徒対策事業	不登校児童生徒やその保護者に対して、適応指導教室のスクールアドバイザー*4や専門相談員が指導や援助を行うことで、学校復帰に向けての支援を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	14.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			70% ⇒ 42%	適応指導教室に入級した児童生徒のうち、学校に復帰した児童生徒の割合(週1日以上登校)								
【特筆事項】 学校に復帰した児童生徒数は平成26年度 30人、平成27年度 32人で増加したものの、入級した児童生徒数も平成26年度 54人、平成27年度 77人で増加したため、目標値に達しなかった。												
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関する学校訪問	生徒指導に関する学校訪問を定期的(小学校年1回、中学校年2回)に実施することにより、各学校の生徒指導に関する現状と課題、その対応策等を把握するとともに、指導助言を行うことで教員の生徒指導に関する資質の向上を図り、児童生徒の健全な育成を目指しました。		1.5		1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			98回 ⇒ 98回	学校訪問の回数(中学校2回、小学校1回)								
【特筆事項】 全ての小中学校を訪問し、各学校の生徒指導上の課題等を把握するとともに、課題解決に向けた協議を行うことで、学校と教育委員会との連携をより効率よく行うことができた。												
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	生徒指導に関するケース会議	児童生徒やその保護者の実態や支援の必要な背景、課題等について福祉機関、医療機関、相談機関等と連携してその解決のために協議したり、情報を交換したりしました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
【特筆事項】												
1-2-2 不登校児童生徒への適切な対応・体制づくりの充実	学校教育課	適応指導教室運営支援	適応指導教室に配置されているスクールアドバイザーや相談員等に対して、年3回定期的に適応指導教室の運営に関わる研修を行い、スクールアドバイザー等の資質の向上に努めました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3回 ⇒ 3回	適応指導教室の運営に関わる研修回数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-2-3 小中学校に関するスクールカウンセリングの充実	学校教育課	小中学校スクールカウンセリング等事業	小中学校のいじめや不登校に関する保護者や教職員への相談ニーズに対応するために、専門的な知識をもつ者によるカウンセリングを行うとともに、中学校にスクールアシスタント ^{*5} を派遣しました。	1.5			1.5	2.0	5.0	8.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												
スクールカウンセラー ^{*6} への相談件数は年間を通して多く、児童生徒や保護者に寄り添う相談活動を行うことができた。また、スクールアシスタントによる機動的な対応は、学校にとって問題を解決する大きなサポートとなっている。												
1-2-3 小中学校に関するスクールカウンセリングの充実	学校教育課	教育相談センター運営支援	相談センターに配置されているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー ^{*7} への相談業務に関わる指導助言を行いました。		1.5		1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	学校教育課	不審者情報や重大事件への対応	小中学校への声かけ事案や不審者及び重大事件が発生した場合、関係の小中学校や地域事務所等に情報を提供し、未然防止に努めました。		1.5		1.0	1.0	3.5	9.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	各学校への情報提供率								
【特筆事項】												
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	生涯学習課	青少年非行防止・育成事業	青少年の健全育成を図るための拠点施設となる、同センターの管理運営費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			600人 ⇒ 267人	街頭指導の対象となった青少年の延べ人数								
【特筆事項】												
街頭指導時に指導した青少年の年間延べ人数を計上しているが、平成27年度から声をかけた上で一定の指導を行った件数としている。なお、活動委員の延べ人数は、平成26年度が6,421人に対し、平成27年度が6,413人と、ほぼ同程度である。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
1-2-4 地域や関係機関・団体との連携による見守り活動の充実	生涯学習課	青少年育成センター管理費	青少年の健全育成を図るための拠点施設となる、同センターの管理運営費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
											
【特筆事項】											

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 3 特別支援教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
A	4.1	28.5	7	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標 1	特別な支援を要する児童生徒への配慮や指導に満足している保護者の割合【学校教育課】						
進捗状況	保護者の意向を尊重した適正な就学相談を実施するとともに、特別支援学級において編制される教育課程について点検及び指導を行い、児童生徒に対する教育的配慮や指導の向上を図った。	79.6%	※	※	※	-	100%
指標 2	特別支援教育スクールサポーター ^{*8} の配置人数【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	配置人数は、目標値に達することができた。今後も児童生徒の状況に応じて、スクールサポーターの効果的な配置を進めていく。	44人	45人	46人	50人	-	50人

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	特別支援学級ティーチングスタッフ派遣事業	障がいのある児童生徒が多数在籍する特別支援学級等がある学校に、非常勤講師を派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5	13.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			32% ⇒ 29%	非常勤講師が派遣されている学校(特別支援学級を有する)の割合								
【特筆事項】												
派遣人数は平成26年度と同じであるが、平成27年度は複数人派遣した学校があるため、成果指標は下がっている。在籍児童生徒数が多い、または指導に困難が生じやすい特別支援学級にティーチングスタッフを派遣することにより、一人一人の教育的配慮に応じた指導を充実することができている。												
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	特別支援教育スクールサポーター事業	通常の学級に在籍している発達障がいのある児童生徒に対して、学習及び生活面の支援を行うために、スクールサポーターを派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			75% ⇒ 74%	スクールサポーター配置校の全小中学校に占める割合								
【特筆事項】												
昨年度より4人多い50人を配置し、スクールサポーターによる支援により、対象となる児童生徒の学習への取組や生活への適応に改善がみられた。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-1 特別支援体制の充実	学校教育課	教育アシスタント ^{*9} 派遣事業	下肢等に障がいのある児童生徒の学校生活における介助等を目的として、教育アシスタントを派遣しました。	1.5			1.0	2.0	4.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			27人 ⇒ 40人	教育アシスタントの支援を受けている児童生徒数								
			【特筆事項】 前年度より多くの教育アシスタントを派遣することができた。教育アシスタントの支援により、対象の児童生徒が学習活動に取り組みやすくなるとともに、障がいのない児童生徒とともに学校生活を送ることができた。									
1-3-2 就学相談の充実	学校教育課	特別支援教育等管理事業	障がいのある幼児、新入学児及び在学児童生徒に対して、適切な就学指導を行うために、就学相談委員会を設置し、必要な検査・調査・相談を実施しました。また、特別支援学級の新設・増設に伴い備品や消耗品の整備をしました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
			【特筆事項】									
1-3-3 特別支援学級、通常の学級における指導の充実	学校教育課	特別支援学級の教育課程編成の指導	特別支援学級において効果的で適切な指導及び就学が行われるように、特別支援学級において編成される教育課程について点検や指導を行いました。		1.5		1.5	1.0	4.0	8.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	点検や指導を行った特別支援学級の割合								
			【特筆事項】									
1-3-3 特別支援学級、通常の学級における指導の充実	学校教育課	通級指導教室の教育課程編成の指導	通級指導教室において効果的で適切な指導が行われるように、通級指導教室において編成される教育課程について点検や指導を行いました。		1.5		1.5	1.0	4.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 100%	点検や指導を行った通級指導教室の割合								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-3-4 幼稚園・保育所・小中学校、関係機関との連携の充実	学校教育課	中学校区ごとの特別支援連絡会議	特別支援教育に係る、幼保小中及び福祉等の関係機関との連携を深め、特別支援教育連携のための体制の整備や充実を図りました。		1.5		1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
												
			【特筆事項】 中学校区ごとの特別支援教育連絡会議を実施することにより、幼保小中及び福祉等の関係機関との連携が深まり、障がいのある児童生徒への支援体制づくりが進んだ。									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 4 体力の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
A	4.0	8.0	2	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	小学生が1週間あたり3日以上運動やスポーツを行った割合 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	男女共に、結果に伸びが見られない要因として、運動やスポーツを行う楽しさや喜び、効果などを体感できていないことが要因である。教員の研修及び新規事業「体育アシスタント派遣」等で一層の改善を図る。	男子 59.0% 女子 33.7%	男子 42.8% 女子 25.8%	男子 41.8% 女子 25.3%	男子 41.4% 女子 25.7%	-	男子 75.0% 女子 55.0%
指標 2	中学生が1週間あたり3日以上運動やスポーツを行った割合 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	男女共に、結果に伸びが見られない要因として、生徒が運動やスポーツの必要性を感じる生徒が増えることが重要である。保健分野や体育理論の指導の充実を目指す教員の研修及び資料の提供で改善を図る。	男子 88.6% 女子 64.9%	男子 86.2% 女子 63.8%	男子 86.1% 女子 64.2%	男子 85.6% 女子 64.1%	-	男子 90.0% 女子 70.0%

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の方 向性の 計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-4-1 学校体育 の充実	学校 教育 課	学校体育振興 事業	小学校6年生を対象とした水泳競技大会及び陸上競技大会のバス運行や九州中学校体育大会及び全国中学校体育大会に参加する選手の派遣費の補助等を行った。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			351人 ⇒ 364人	九州中学校体育大会・全国中学校体育大会の参加選手数								
【特筆事項】												
1-4-2 中学校運 動部活動 の充実	学校 教育 課	中学校部活動 に係る学校訪 問	全ての中学校を訪問し、部活動に関する運営・活動状況を確認し、必要に応じて、指導・助言を行いました。		1.5		1.0	2.0	4.5	4.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			25校 ⇒ 25校	事業を実施した学校数								
【特筆事項】 部活動の意義を踏まえた組織的な運営と生徒の主体的な取組について全ての中学校と協議し、部活動の充実を図った。放課後の時間を利用して運動に親しむ生徒が増加しており、生徒の体力向上につながっている。												

基本目標 1 学校教育の充実

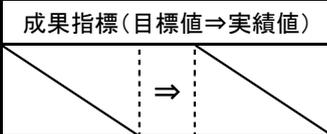
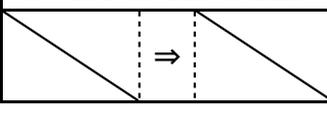
主な施策 5 学校保健活動の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B ⁺	3.6	21.6	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標	12歳児平均むし歯本数(中学1年生)【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	歯磨きや甘味料の摂取指導に加え、フッ化物洗口 ^{*10} の実施により、むし歯本数が減少している。	0.99本	0.95	0.82	0.74	-	1.0本 未満
指標	アナフィラキシー ^{*11} 対応緊急時マニュアルの作成学校数【保健給食課】	H24	当初値 H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	マニュアル作成に取り組む学校が増加している。	※	13校	50校	60校	-	73校

※アナフィラキシー対応緊急時マニュアルの作成は、平成25年度から取り組んでいる。

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-5-1 児童生徒 および教 職員の健 康診断の 実施	保 健 給 食 課	学 校 保 健 安 全 事 業	児童生徒の疾病の早期発見及び事後措置、健康保持を目的として、健康診断及び健康相談を行いました。	1.0			1.3	1.0	3.3	6.3		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
												
【特筆事項】 学校保健安全法施行規則改正に対応するため、医師会等と協議し、検診方法及び諸様式等の改正を行った。												
1-5-1 児童生徒 および教 職員の健 康診断の 実施	保 健 給 食 課	教 職 員 健 康 診 断 事 業	教職員の健康診断を実施し、総合的な判定に基づく治療指示等を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
												
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-5-2 学校環境衛生検査の充実	保健給食課	学校保健安全事業	学校のプール水、飲料水検査など環境衛生に関する様々な検査を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			/ → /									
【特筆事項】												
1-5-3 思春期健康教育の推進	保健給食課	思春期健康教育講師派遣事業	性に関する正しい知識や情報を伝えるため、助産師を講師として派遣しました。	1.5			0.8	2.0	4.3	4.3		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			160人 ⇒ 155人	助産師の延べ派遣人数								
【特筆事項】 派遣人数は目標に達しなかったが、受講者数が6,671人から7,340人と増加したため自己評価を2.0とした。												
1-5-4 フッ化物応用の推進	保健給食課	学校フッ化物応用*12事業	児童生徒のむし歯予防と歯質強化を図るため、フッ化物洗口を実施しました。	1.0			1.5	2.0	4.5	4.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			29,500人 ⇒ 28,892人	フッ化物洗口への参加児童・生徒数								
【特筆事項】 参加者は目標に達していないが、むし歯本数が減少しているため、自己評価を2.0とした。												
1-5-5 アナフィラキシーへの対応に関する体制づくりの推進	保健給食課	学校保健安全事業	アナフィラキシー対応緊急時マニュアル作成の要請を行いました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 60校	アナフィラキシー対応緊急時マニュアル作成校数								
【特筆事項】 各学校のマニュアルを作成していない学校については、国の「学校給食における食物アレルギー対応指針」に基づいて対応している。												

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 6 地域の歴史に対する認識の向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B	3.3	19.5	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	出前授業実施件数【文化財課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	出前事業の実施件数は、平成26年度との比較で大きく増加しており、事業開始以来、最高件数を記録した。しかし、40件という目標は、まだ達成していない。平成27年度に出前授業用の新しいカタログを作成したので、研修や定例校長会などでのアピールを継続して実施し、さらなる利用促進に努めていきたい。	23件	20件	18件	29件	-	40件

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-6-1 郷土の歴史学習の 推進	文化財課	郷土の歴史学習推進事業	文化財課職員による郷土の歴史・文化財・偉人に関する出前授業を実施しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	9.5		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			40件 → 29件	出前授業の実施件数								
			【特筆事項】 出前事業の実施件数は、平成26年度と比較して大きく増加したが、目標値を下回ったため、自己評価を1.0とした。									
1-6-1 郷土の歴史学習の 推進	文化財課	埋蔵文化財保存活用事業	発掘調査による成果を市民に周知することにより、史跡や埋蔵文化財の利活用を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			15件 → 15件	講座イベント実施件数								
			【特筆事項】 講座やイベントを行う際のターゲット(=対象)をより明確にした。結果、こども向け戦国体験を多く取り入れた「歴史散歩inむかさ」では、450人の親子連れが参加した。									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
1-6-1 郷土の歴史学習の推進	文化財課	民俗芸能伝承事業	民俗芸能の保存、後継者育成のため、民俗芸能登録団体への助成のほか、「みやぎ民俗芸能まつり」を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			63団体 ⇒ 52団体	民俗芸能登録団体に対する助成の実数								
			【特筆事項】 後継者不足などにより、活動を休止している団体もあるため、実績値が目標値を下回っているものの、活動団体の掘り起こしにより、登録団体数は徐々に増えている。									
1-6-2 郷土が生んだ偉人について学ぶ学習の推進	生涯学習課	高木兼寛顕彰事業	郷土の偉人高木兼寛の遺徳を偲び、偉大な精神を伝え残すため、顕彰会への支援や特別大使の派遣を行いました。また、高木兼寛賞として、小学6年生を対象に作文募集し、入賞者を表彰しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,800人 ⇒ 3,358人	派遣された中学校ごとの報告会に参加した生徒の合計人数								
			【特筆事項】 平成27年度より、年度ごとに募集する学校数を9から7へと変更したため、参加人数が減っている。									
1-6-2 郷土が生んだ偉人について学ぶ学習の推進	生涯学習課	安井息軒顕彰補助事業	郷土の偉人安井息軒の偉業を後世に伝えることで郷土愛を育むため、顕彰会支援を行いました。	1.5			1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			240人 ⇒ 170人	安井息軒にちなんだ演目による講演会参加者数								
			【特筆事項】 毎年、顕彰会が、9月の祝日(秋分の日)に、安井息軒にちなんだ行事(講演会等)を行い、定着化を図っている。									
1-6-2 郷土が生んだ偉人について学ぶ学習の推進	生涯学習課	安井息軒顕彰・川口市文化交流事業	郷土の偉人安井息軒の偉業と精神を後世に伝えるため、ゆかりのある川口市との交流活動を行いました。	1.5			1.0	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			7,600人 ⇒ 7,429人	発表会参加者数								
			【特筆事項】 平成27年度は、対象校17校に対し、参加校は14校であった。 事業発表会で参加した児童からは、安井息軒が教鞭をとった場所(日南市、埼玉県川口市)の訪問や、訪問前の事前学習を通して、郷土が生んだ偉人について新たな認識が芽生えたなどの感想があり、一定の事業成果は上がったものとする。									

基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 7 キャリア教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B ⁺	3.5	7.0	2	

施策推進のための管理指標の状況

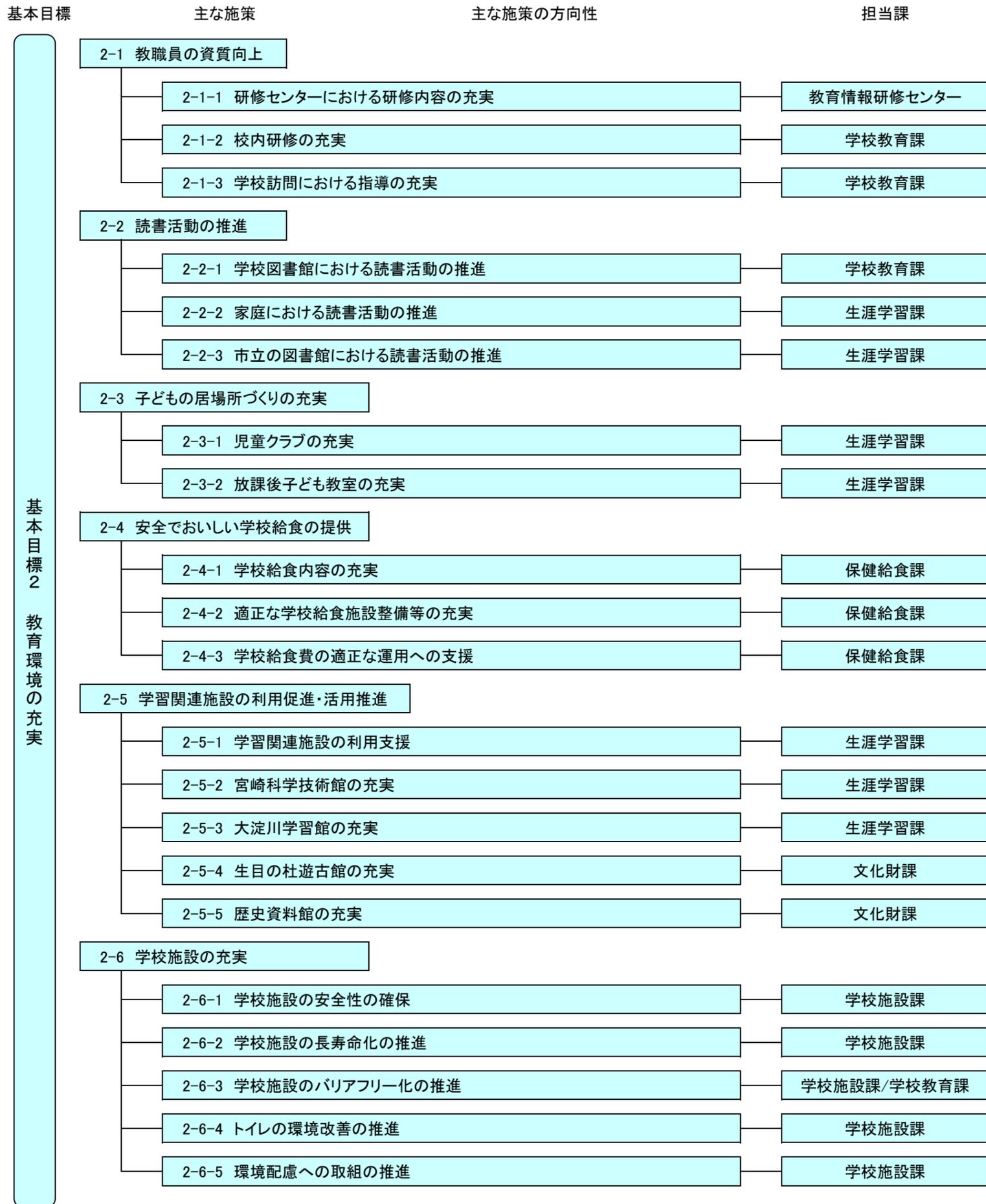
指標 1	キャリア教育の全体計画・年間指導計画を作成する学校数 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	キャリア教育の全体計画を全ての学校が作成し、キャリア教育の充実を図っている。	25校	25校	73校	73校	-	73校

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計
				有り	無し	ハード	ハード 以外			
1-7-1 キャリア 教育に関 する指導 体制の整 備	学 校 教 育 課	職 場 体 験 学 習 「 夢 ワ ー ク 2 1 」 推 進 事 業	中学2年生が地域の事業所 (商店、飲食店、農家、ホテル、 行政機関など)において、主体 的な体験活動を実施すること で、地域の教育力を生かしなが ら生徒に「豊かな心」や「生きる 力」を育む教育活動の充実を図 りました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			1,000事業所 ⇒ 1,139事業所	職場体験学習実施事業所数						
			【特筆事項】							
職場体験学習の実施事業所数は、目標値を上回っているものの、さらに地域の特色を生かすこと、体験学習と事前・事後の学習のつながりを強化することなど、内容の充実を図る必要がある。										
1-7-2 実践的な キャリア 教育の充 実	学 校 教 育 課	職 場 体 験 学 習 「 夢 ワ ー ク 2 1 」 推 進 事 業	計画的・系統的にキャリア教 育を進めることができるよう、各 学校でキャリア教育に関する年 間指導計画を作成し、それを活 用しながら具体的な教育実践の 充実を図りました。		1.5		1.0	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			25校 ⇒ 25校	年間指導計画作成と実践の学校数						
			【特筆事項】							
全ての中学校において、キャリア教育の全体計画と年間指導計画が作成されている。現在キャリア教育において求められている社会的、職業的自立に向け、必要な基盤となる力を身に付けさせるように、各計画の更なる実践の推進が必要である。										

(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3

(イ) 基本目標2 教育環境の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 1 学校教育の充実

主な施策 8 国際理解教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B	3.2	6.3	2	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	小学校からの外国語活動や中学校英語教育における保護者の満足度 【学校教育課】【教育情報研修センター】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	小学校外国語講師及びALT ^{*13} を派遣し、支援を行っている。	67.5%	※	※	※	-	100%

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名 称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
1-8-1 小学校に おける外 国語活動 の充実	教育 情報 研修 セン ター	小学校外国語 活動推進事業	小学校段階から英語や外国の文化に触れたり、体験したりすることにより、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚を身に付けた児童を育成しました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】 中学校の外国語科へスムーズにつなげるために、平成30年度の外国語教科化に向けた検討を行う必要がある。									
1-8-2 中学校に おける外 国語教育 の充実	教育 情報 研修 セン ター	外国人講師(A LT)招致事業	外国語指導助手を中学校に派遣し、中学校における英語教育の向上と国際性豊かな生徒を育成しました。	1.0			0.8	1.0	2.8	2.8		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			64% ⇒ 63%	成果指標は、英語検定3級の合格率								
【特筆事項】 目標値を概ね達成していることから、自己評価を1.0とした。												
1-8-3 国際交流 活動支援 の充実	教育 情報 研修 セン ター											
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			【特筆事項】 現在は企画財政部が国際交流活動支援の充実に関する事業を行っており、教育情報研修センターはその支援という位置づけであるため、評価の対象外とする。									

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 1 教職員の資質向上

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.1	12.5	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	研修受講生アンケートにおける満足度調査【教育情報研修センター】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	講座数、研修内容等は、アンケート等を元に毎年見直し、教育的課題やニーズに応じた内容になるよう改善している。	96%	96%	97%	98%	-	97%

施策の 方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-1-1 研修セン ターにお ける研修 内容の充 実	教育情 報研修 センタ ー	教職員研修運 営事業	宮崎市教育情報研修センターにおける教職員への研修内容を充実させ、ニーズに応じた研修講座の開設や内容の創意工夫を推進し、教職員の資質向上や実践的な指導力を高めました。	1.0			1.5	1.0	3.5	6.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			97% ⇒ 98%	成果指標は、研修参加者の満足度の割合								
【特筆事項】 より充実した研修を実施するため、研修の内容や講師選定について、今後も検討を行っていく。												
2-1-1 研修セン ターにお ける研修 内容の充 実	教育情 報研修 センタ ー	教育講演会開 催事業	教職員としての見識を広め、教育的課題や地域の教育的ニーズに対応できる資質や能力の向上を図るために、優れた研究者や実践家等を招聘して講演会を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1000人 ⇒ 966人	成果指標は、教育講演会の参加者数								
【特筆事項】 概ね目標値は達成しているので自己評価は1.0としたが、本事業がさらに充実するように、講師選定などについて検討する必要がある。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-1-2 校内研修の充実	学校教育課	就学前教育に係る幼稚園訪問	市立幼稚園を訪問し、指導・活動内容を確認し、必要に応じ、指導・助言を行いました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										
2-1-3 学校訪問における指導の充実	学校教育課	学校訪問(計画訪問)	市内小中学校の教育水準の維持向上と学校の適正な経営管理を目指すとともに、教職員の指導力を高め、学校教育の充実を図るために計画的な学校訪問を実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 2 読書活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.2	42.0	13	

施策推進のための管理指標の状況【学校図書館における読書活動の推進】

指標	学校図書館を活用した授業に取り組んでいる学校数【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	学校図書館を活用した授業に取り組んでおり、概ね良好である。	32校	- ※1	- ※1	※2	-	73校
指標	蔵書率 ^{*14} 100%の小学校数【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	蔵書率100%を維持するために、図書の購入と廃棄を計画的に行うよう指導し、蔵書率100%の学校数が増加しており良好である。	39校	42校	- ※1	46校	-	48校
指標	蔵書率100%の中学校数【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	平成24年度から蔵書率100%の中学校数が5校増加し、良好である。	13校	13校	- ※1	18校	-	25校

※1 調査未実施

※2 学校司書配置校(全小学校)については48校中48校で達成。
読書活動アシスタント配置校(全中学校)の25校では調査未実施。

施策推進のための管理指標の状況【家庭及び地域(市立の図書館)における読書活動の推進】

指標	ブックスタート事業における絵本の配付率【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	7～8か月児健康診断時に合わせて実施することで、高い配付率が保たれている。	92.5%	92.8%	92.9%	94.8%	-	97.0%
指標	市立の図書館における貸出冊数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	平成25年度は、システム更新により貸出できなかった期間があったため減少しているが、ほぼ横ばい状態となっている。	107万冊	100万冊	106万冊	108万冊	-	113万冊

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校司書 ^{*15} 配置事業	学校図書館に現在配置されている読書活動アシスタントに替えて、司書資格を持った学校司書を全ての小学校48校に配置しました。	1.5			2.0	1.0	4.5	18.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			14.6冊 ⇒ 17冊	小学校読書量(一か月あたりの平均)								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	読書活動アシスタント派遣事業	児童生徒の図書館教育・読書活動の一層の推進を図るため、読書活動アシスタントを中学校25校に各1名ずつ派遣しました。	1.0			1.5	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			3.5冊 ⇒ 4.3冊	中学校読書量(一か月あたりの平均)							
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校図書館訪問	豊かな心を育む「読書センター」としての学校図書館の機能充実を図るため、学校図書館支援アドバイザーが全ての小中学校を訪問し、学校図書館の管理運営の支援を行いました。		1.0		1.5	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			△ ⇒ △								
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	学校教育課	学校司書及び読書活動アシスタント研修会事業	「学習・情報センター」としての学校図書館の機能充実を図るため、学校司書及び読書活動アシスタントの研修を計画的に実施しました。		1.0		1.5	1.0	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			△ ⇒ △								
【特筆事項】											
2-2-1 学校図書館における読書活動の推進	生涯学習課	図書館ネットワーク事業	市立小中学校とネットワークを構築し図書館資料等の効率的な提供を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			10,000冊 ⇒ 8,771冊	宮崎市立図書館からリクエスト申込みをした公立小中学校への配本冊数							
【特筆事項】 各学校からのリクエストが重複し、複本で対応できない状況はあるものの、例年に引き続き市立小中学校と連携して学校図書の効果的な提供を図っている。											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計	
				有り	無し	ハード	ハード以外				
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館管理運営費	市立図書館のホームページ・広報誌などを通じ、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	12.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			⇒								
【特筆事項】											
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	佐土原図書館管理運営費	図書館ホームページや広報誌などを通して、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			⇒								
【特筆事項】											
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託業務	市立図書館のホームページ・広報誌などを通じ、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			⇒								
【特筆事項】											
2-2-2 家庭における読書活動の推進	生涯学習課	ブックスタート事業	7~8か月児健康診査時に小児科医から保護者に、子どもと絵本のふれあい等の大切さを説明してもらい、絵本を配付しました。	1.0			1.0	1.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			95%	⇒	95%	配付率(配付人数/対象者数×100%)					
【特筆事項】											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館管理運営費	市立図書館のホームページ・広報誌などを通じ、保護者に対して読書に関する情報提供を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	12.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	佐土原図書館管理運営費	地域に親しまれる図書館づくりに努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	市立図書館業務NPO委託業務	土曜シアター、日曜映画会、おはなし会など、子どもたちが楽しみながら読書に触れる行事を開催しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												
2-2-3 市立の図書館における読書活動の推進	生涯学習課	図書館ネットワーク事業	市立小中学校、公立公民館等とのネットワークを構築し、図書館資料等の効率的な提供を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			10,000冊 ⇒ 8,771冊	宮崎市立図書館からリクエスト申込みをした公立小中学校への配本冊数								
【特筆事項】 各学校からのリクエストが重複し、複本で対応できない状況はあるものの、例年に引き続き市立小中学校と連携して学校図書の効率的な提供を図っている。												

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 3 子どもの居場所づくりの充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B ⁺	3.9	15.5	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	児童クラブ総定員数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	H29目標値に対し、総定員数達成率110%である。	2,437名	2,482名	2,552名	3,013名	-	2,737名
指標	児童クラブ待機児童 ^{*16} 数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	申請者数の増に伴い、待機者数も増加傾向にある。H29目標値に向け、今後も定員拡大を図る。	73名	145名	178名	326名	-	0名

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	児童クラブ運営事業	保護者の就労等により放課後に家庭で面倒を見ることができない小学校低学年児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供しました。	1.5			1.5	1.0	4.0	12.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2,552人 ⇒ 3,013人	児童クラブ総定員数								
【特筆事項】 実績値は目標値を上回っているが、申請者数の増加に伴い、待機児童者数も増加している。平成26年度末に策定した「宮崎市子ども・子育て支援プラン」において、平成31年度までに待機児童数を解消することとしており、今後も定員枠拡大を図っていく。												
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	きよたけ児童クラブ施設指定管理料	宮崎市きよたけ児童クラブ施設の管理運営を指定管理者に委託しました。 指定管理者:宮崎市社会福祉協議会・NPO法人みやざき子ども文化センター 共同体	1.5			1.5	1.0	4.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			90人 ⇒ 101人	児童クラブ総定員数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-3-1 児童クラブの充実	生涯学習課	児童クラブ施設整備事業	待機児童の解消を図るため、学校の余裕教室等を整備し、児童クラブの定員を拡大しました。	1.0		2.0		1.0	4.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												
2-3-2 放課後子ども教室の充実	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業	放課後や週末等に学校や公民館を活用し、子どもに安全で安心できる活動拠点を提供しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			31 ⇒ 27	教室実施箇所数								
【特筆事項】 教室数の増加はかなわなかったが、参加児童数は2,491人の増加が見られたため、自己評価を1.0とした。												

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 4 安全でおいしい学校給食の提供

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B ⁺	3.5	14.0	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	学校給食における地場産物の使用割合【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	使用割合は、伸び悩んでいるため、関連各課(団体)と協議を進めている。	40.5%	39.8%	39.9%	※	-	45%
指標	学校給食費未納状況(収納率)【保健給食課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	収納率は、高い水準を維持している。	99.84%	99.86%	99.87%	99.92%	-	100%

※県調査中

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-4-1 学校給食 内容の充実	保健給食課	献立作成委員会	献立作成委員会を実施し、栄養教諭・学校栄養職員を中心に、季節感のある食材を用いた料理を提供し、児童生徒の食体験や味覚の幅を広げました。		1.0		1.0	1.0	3.0	6.5		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			⇒									
【特筆事項】												
2-4-1 学校給食 内容の充実	保健給食課	食育推進事業 (学校給食用 廃油リサイクル 交付金)	廃油交付金を給食の食材費会計に還元させ、地場産物の購入を促進しました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			854千円 ⇒ 837千円	学校給食用廃油リサイクル交付金								
【特筆事項】 地場産物: 県産牛肉、豚肉、鶏肉、野菜、日向夏みかんジャム、高岡文旦など												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-4-2 適正な学校給食施設整備等の充実	保健給食課	学校給食施設設備維持管理事業 清武学校給食センター施設整備事業	学校給食は、国の衛生管理基準に適合した施設設備で、給食を提供しなければならない。そのために施設や機器の老朽化による衛生環境の改善を常に行う必要があり、そのため必要な施設の改修や機器の更新を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			0件 ⇒ 0件	食中毒の発生件数								
			【特筆事項】									
2-4-3 学校給食費の適正な運用への支援	保健給食課	学校給食費未納対策推進事業	学校給食の円滑な実施と公平な保護者負担のため、学校給食費の未納解消に努めました。	1.0			1.5	2.0	4.5	4.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			100% ⇒ 99.92%	学校給食費収納率								
			【特筆事項】 PTAの貢献と行政との連携により未納解消が進んでいる。未納者への児童手当からの天引きの案内や簡易裁判所への支払い督促申し立て等により確実に実績が向上しているため、自己評価を2.0とした。									

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 5 学習関連施設の利用促進・活用推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B	3.3	26.5	8	

施策推進のための管理指標の状況

指標	宮崎科学技術館入館者による満足度数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	展示物の更新等については、施設のあり方を含め検討を重ねているところである。また、職員の対応については、資質向上を図るため、協会内で各種研修会等を実施している。	81.6%	83.2%	83.5%	86.9%	-	100%
指標	学習関連施設入館者数【生涯学習課】【文化財課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	科学技術館はH24年比約110%、大淀川学習館はH24年比約109%で、目標値を既に上回っている状況。今後も既存イベントを検証しながら、新規イベントを実施し、入館者増を図っていく。	460,824人	465,948人	481,754人	510,486人	-	486,000人

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-5-1 学習関連施設の利用支援	生涯学習課	施設学習支援事業	市内教育文化施設と学校間の移動手段を確保し、校外学習の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,500人 ⇒ 2,761人	施設学習支援事業を利用した延べ人数								
【特筆事項】 平成26年度に350名程度実績のあったフェニックス自然動物園を、平成27年度より事業目的と異なることがあったため対象施設から外したことで、当該利用者数程度が減少しているが、例年通り事業を実施できている。												
2-5-2 宮崎科学技術館の充実	生涯学習課	科学技術館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.0			1.5	1.0	3.5	6.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			175,000人 ⇒ 158,950人	宮崎科学技術館の利用者数								
【特筆事項】 入館者数が前年度(H26)153,621人を上回り、実績が向上している。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-5-2 宮崎科学技術館の充実	生涯学習課	科学技術館管理運営事業	宮崎科学技術館の施設改修及びプラネタリウムの保守点検に要する経費を支出しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										
2-5-3 大淀川学習館の充実	生涯学習課	大淀川学習館指定管理料	(公財)宮崎文化振興協会を指定管理者に指定し、館の円滑な運営を図りました。	1.0			1.5	1.0	3.5	3.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			150,000人 ⇒ 184,728人	大淀川学習館の利用者数						
【特筆事項】										
2-5-4 生目の杜遊古館の充実	文化財課	生目の杜遊古館管理運営事業	生目古墳群や市内の遺跡に関する学習の場を提供するとともに、宿泊型の体験学習施設として、施設の適切な管理運営を行いました。	1.0			1.5	2.0	4.5	7.5
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			43,500人 ⇒ 48,551人	遊古館入館(利用)者数						
【特筆事項】 入館者数10万人プロジェクトを実施し、学校及び関係団体、観光客等に広く周知をはかった。その結果、平成27年度の入館者数は、過去最高を記録した。										
2-5-4 生目の杜遊古館の充実	文化財課	生目古墳群史跡公園整備事業	国指定史跡「生目古墳群」を含む22haの敷地を史跡公園として公開しながら、古墳の発掘調査及び周辺整備を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】										

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
2-5-5 歴史資料館の充実	文化財課	歴史資料館指定管理料	みやざき歴史文化館、佐土原歴史資料館、天ヶ城歴史民俗資料館の管理運営を、指定管理者である(公財)宮崎文化振興協会に委託し、円滑な運営を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			93,000人 ⇒ 107,691人	歴史資料館3館の入場者数						
		【特筆事項】								
2-5-5 歴史資料館の充実	文化財課	きよたけ歴史館管理運営事業	きよたけ歴史館(歴史資料館、埋蔵文化財センター、茶室「香梅庵」)をそれぞれの特性に合わせ、適切に管理運営を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			9,000人 ⇒ 10,566人	きよたけ歴史館の入場者数						
		【特筆事項】								

基本目標 2 教育環境の充実

主な施策 6 学校施設の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B ⁺	3.5	34.5	10	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	トイレの洋式化率【学校施設課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	概ね計画通り進捗している。	27.1%	28.8%	31.0%	31.9%	-	32.0%

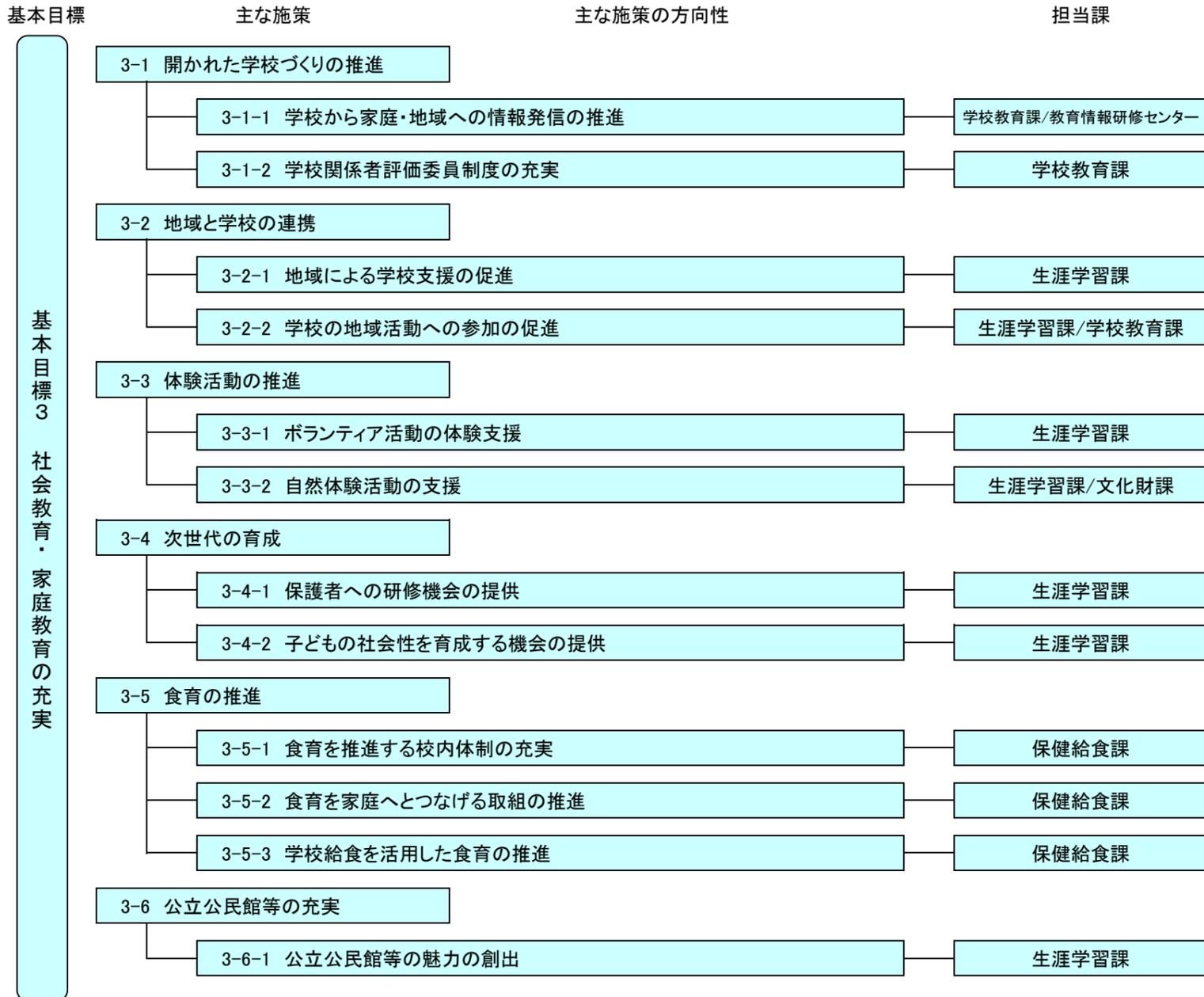
施策の 方向性	担当課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策 の方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
2-6-1 学校施設 の安全性 の確保	学校 施設課	小中学校校舎 外壁落下防止 対策事業	老朽化した校舎の外壁モルタル等の落下防止対策を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			5校 ⇒ 5校	成果指標は、実施校								
【特筆事項】												
2-6-2 学校施設 の長寿命 化の推進	学校 施設課	小中学校校舎 屋根防水改修 事業	経年劣化による既存防水層を除去し、新たに全面に防水層を設置しました。	1.0		1.5		1.0	3.5	14.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			4校 ⇒ 4校	成果指標は、実施校								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	小中学校屋内運動場屋根防水改修事業	学校施設の長寿命化を図るため、老朽化した屋内運動場の屋根防水改修工事を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2校 ⇒ 2校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	中学校屋内運動場大規模改造事業	学校施設の長寿命化を図るため、老朽化した屋内運動場の全面的な改修工事を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1校 ⇒ 1校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										
2-6-2 学校施設の長寿命化の推進	学校施設課	小中学校高圧受変電設備更新事業	学校施設の機能維持を図るため、老朽化した高圧受変電設備の取替工事と実施設計を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			10校 ⇒ 10校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										
2-6-3 学校施設のバリアフリー化の推進	学校教育課	特別支援教育バリアフリー化整備事業	障がいのある児童生徒が安心・安全で円滑な学校生活を送れるよう、必要なトイレの改修や段差解消等のハード面の整備を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	7.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			15箇所 ⇒ 15箇所	成果指標は、バリアフリー化整備箇所								
		【特筆事項】										

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
2-6-3 学校施設のバリアフリー化の推進	学校施設課	小中学校バリアフリー整備推進事業	学校施設のバリアフリー化を図るため、渡り廊下等の段差解消工事や階段手摺の設置を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			4校 ⇒ 4校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										
2-6-4 トイレの環境改善の推進	学校施設課	小中学校トイレ改修事業	良好な教育環境の確保を図るため、老朽化した学校トイレの便器、配管等の全面的な改修工事を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	3.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3校 ⇒ 3校	国の国庫補助金の活用が不採択になったため、4校から3校へ変更。								
		【特筆事項】										
2-6-5 環境配慮への取組の推進	学校施設課	中学校プールろ過機更新事業	学校施設の機能維持を図るため、老朽化したプールのろ過装置の取替工事を行いました。	1.0		1.5		1.0	3.5	6.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1校 ⇒ 1校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										
2-6-5 環境配慮への取組の推進	学校施設課	小中学校公共下水道接続事業	学校施設の公共下水道への接続工事の実施設計を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			2校 ⇒ 2校	成果指標は、実施校								
		【特筆事項】										

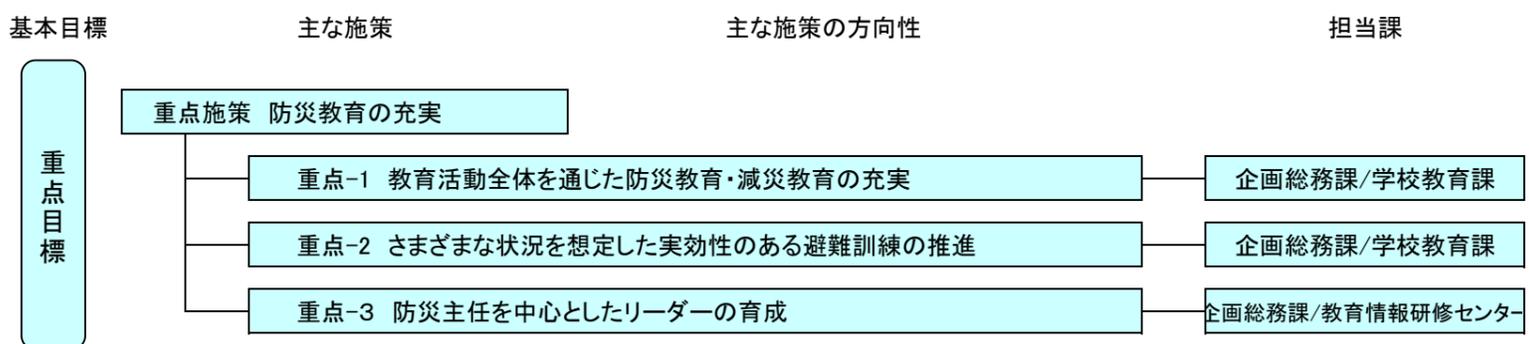
(5) 基本目標別事務事業の点検・評価シート3
 (ウ) 基本目標3 社会教育・家庭教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



(エ) 重点目標 防災教育の充実

宮崎市教育ビジョンの施策の方向性と関連事業を実施する担当課との関係図



基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 1 開かれた学校づくりの推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B	3.3	10.0	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	「学校の情報を保護者や地域に伝える取組」についての保護者満足度 【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	各学校のホームページ等に学校評価を含めた学校の教育活動等を公表し、保護者や地域に対し開かれた学校づくりを行っている。	81.5%	※	※	※	-	100%

※アンケート未実施 最終年度に行う。

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-1-1 学校から 家庭・地 域への情 報発信の 推進	学 校 教 育 課	学 校 に お け る 教 育 活 動 の 地 域 へ の 発 信	各学校のホームページ等に学校評価を含めた学校の教育活動等を公表しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	6.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			→									
【特筆事項】 全ての学校において、学校評価については、ホームページで公表しているが、文書やホームページを活用した情報の発信については、改善の余地がある。												
3-1-1 学校から 家庭・地 域への情 報発信の 推進	教 育 情 報 研 修 セ ン タ ー	小 中 学 校 コ ン ピ ユ ー タ 推 進 事 業	学校ホームページの充実により、学校内の教育活動等に関する情報を積極的に発信し、学校と地域・家庭との情報の共有化と相互理解に努めました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			73校 → 73校	成果指標は、ホームページ開設校数								
【特筆事項】 平成28年度に小中学校ホームページをCMS ^{*17} (コンテンツ・マネジメント・システム)に移行することで、セキュリティの向上を図り、より更新しやすい環境を構築していく。												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-1-2 学校関係者評価委員制度の充実	学校教育課	地域による学校評価推進事業	市民に教育の質を保証し、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するために、25の各中学校区において学校関係者評価委員*18による学校評価を実施しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	4.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			73校 ⇒ 73校	学校評価によって教育活動の改善が図られた学校数								
			【特筆事項】 全ての学校において、重点目標を設定し、その目標に対する自己評価及び学校関係者評価が行われた。その評価を活用し、地域に開かれた学校づくりを目指した教育活動の改善をさらに推進する。									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 2 地域と学校の連携

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S …4.5点以上 A …4.0～4.4点 B ⁺ …3.5～3.9点 B …3.0～3.4点 C …2.9点以下
B	3.1	12.5	4	

施策推進のための管理指標の状況

指標	学校支援ボランティアの人数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	指定校に学校支援コーディネーターを配置し、地域住民が学校支援ボランティアとして学校に参加しやすい環境と体制づくりを行っている。	11,963人	9,729人	10,602人	11,159人	-	17,200人
指標	地域の行事に参加している小学生【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	平成24年度当初より微減しており、初めて7割を下回る。子どもたちにいろいろな機会を利用して地域行事への参加を促している。	71.4%	70.1%	70.5%	69.5%	-	100%
指標	地域の行事に参加している中学生【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	平成24年度当初より4%増加している。子どもたちにいろいろな機会を利用して地域行事への参加を促している。	38.9%	38.6%	42.9%	42.9%	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	地域と学校の連携による教育支援活動促進事業	学校と地域自治区との連携体制を構築し、双方の協力を促進するため学校支援コーディネーターを配置しました。	1.5			1.0	1.0	3.5	9.5		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			17,200人 ⇒ 11,159人	学校支援ボランティアの延べ人数								
			【特筆事項】 指定校6校のうち1校は自立の目途が立ったため指定校から外している。平成28年度より新たに1校を加え、学校と地域の連携体制の構築を目指す。									
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	夢創り人活性化事業	生涯学習ボランティア指導者の育成とボランティア相互の交流や連携を促進し、市民の自発的な学習活動の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			200回 ⇒ 245回	市民出前講座実施回数								
			【特筆事項】									

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-2-1 地域による学校支援の促進	生涯学習課	ふるさと文化学習支援事業	体験学習や心の交流を通して、児童生徒の「豊かな表現力」「主体性」「郷土愛」を醸成することにより、児童生徒の持つ無限の可能性を引き出すことを目的として実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			146回 → 253回	実施授業回数								
			【特筆事項】									
3-2-2 学校の地域活動への参加の促進	学校教育課	ふるさと教育合同穆園学習会事業	高岡地区の4つの小中学校が合同穆園学習会を開催することにより、ふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもたせる教育活動を推進しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
			4校 → 4校	成果指標は、合同穆園学習会参加校数								
			【特筆事項】									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 3 体験活動の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.2	9.5	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	自然体験活動参加者数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	チラシを配布する等、積極的に事業の告知や周知を行うことで、参加者数の増加に取り組んでいる。	3,053 人	4,522 人	4,185 人	3,181 人	-	5,000 人

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	① 予算化の 区分		② 達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計	
				有り	無し	ハード	ハード 以外				
3-3-1 ボランティア活動の 体験支援	生涯 学習課	子ども体験ボ ランティア活動 支援事業	小中学生に各種行事を通して ボランティア活動支援を実施し ました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			60人 ⇒ 56人	読み聞かせボランティアを体験した小中学生及 び障がい者スポーツ大会にボランティアスタッフ として参加した中学生の人数							
【特筆事項】 (参加者数内訳) ・読み聞かせボランティア 29人 ・障がい者スポーツ大会 27人 学校行事(体育大会など)が重なるなどしたため、参加者が少ない部分があった。											
3-3-2 自然体験 活動の支援	生涯 学習課	子どもの自然 体験活動事業	子どもの生きる力を育むた め、宮崎の自然・関連施設を活 用した自然体験活動を実施しま した。	1.0			1.0	1.0	3.0	6.5	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明							
			1,000人 ⇒ 1,055人	自然体験活動(砂の造形コンクール、わくわくド キドキ体験、自然と遊ぼう)への参加者合計人数							
【特筆事項】 (参加者数内訳) ・砂の造形コンクール 920人 ・わくわくドキドキ体験 46人 ・自然と遊ぼう 89人											

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-3-2 自然体験活動の支援	文化財課	生目の杜遊古館体験活動事業	多様化する社会に対応できるたくましい健全な青少年を育成するため、古代の文化や暮らしを知り、現代社会に生かす知恵と工夫を学習できる古代体験や創作活動、自然体験等を実施しました。	1.0			1.5	1.0	3.5			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			18,500人 ⇒ 21,978人	成果指標は体験学習館利用者数								
			【特筆事項】 野菜、植物等を使った草木染めや藍染め体験、古代米を使ったパン作りやスイーツ作り等の主催イベントを実施した。体験学習館利用者数は、過去最高を記録した。									

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 4 次世代の育成

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.2	19.0	6	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	児童子育て講座実施数【生涯学習課】						
進捗状況	家庭教育事業の中で講座を実施している。	34校	33校	30校	36校	-	48校
指標2	家庭教育学級登録者数【生涯学習課】						
進捗状況	合同研修会等を利用して、家庭教育学級の登録者の増加に取り組んでいる。	2,942人	2,863人	2,845人	2,909人	-	3,050人

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	家庭教育事業	家庭教育力の向上を図るため、講座等を開催しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	10.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			300講座 ⇒ 451講座	全小中学校家庭教育学級講座数の合計								
【特筆事項】 市立小中学校(73校)の保護者が対象であるが、全ての学校で開催され、複数の学校で活発な活動が行われている。												
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	成人教育推進事業	成人団体指導者の育成、成人の社会参加を進める事業を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			3,500人 ⇒ 3,250人	市PTAブロック別研修会参加者数								
【特筆事項】												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
3-4-1 保護者への研修機 会の提供	生涯学習課	人権教育推進事業	人権尊重について理解を深める啓発活動等により人権尊重の教育の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			5,000人 ⇒ 3,858人	市PTA人権教育研修会の参加人数						
			【特筆事項】 開催した曜日、時間が参加者数に影響したことが考えられる。							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会の提供	生涯学習課	子ども会関係活動事業	子ども会活動の活性化、少年リーダー及び成人指導者の育成を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	9.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			70% ⇒ 62%	子ども会加入率						
			【特筆事項】							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会の提供	生涯学習課	九州都市中学生交流*19事業	野外での体験活動等の交流活動を通して、豊かな人間関係づくりや、次代を担う青少年としての資質を育成するとともに、九州各都市の相互交流・交歓の充実を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			9回 ⇒ 9回	引率者事前打合せ会、結団式、事前研修会、大会、事後研修会実施回数						
			【特筆事項】							
3-4-2 子どもの社会性を 育成する機会の提供	生涯学習課	青少年団体教育推進事業	青少年の健全育成や指導者育成を目的として活動している社会教育関係団体に対して支援を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			2,300人 ⇒ 918人	社会教育関係団体の企画した行事への参加人数						
			【特筆事項】 社会教育関係団体は一定の活動を行っており、その運営に対する補助金を交付しているところであるが、当該年度において参加者を多く見込める行事を開催することができなかった。							

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 5 食育の推進

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.0	9.0	3	

施策推進のための管理指標の状況

指標	内容	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
指標1	食に関する指導の年間指導計画を作成している学校数【保健給食課】						
進捗状況	指導計画の作成校が伸び悩んでいるため、学校教育課と共同して計画作成の指導を行っている。	55校	55校	55校	55校	-	73校
指標2	毎朝、朝食を食べる児童生徒の割合【保健給食課】						
進捗状況	学校での指導により朝食を食べる割合が増えている。	91%	93%	95%	-※	-	100%

※アンケート未実施

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
3-5-1 食育を推進する校内体制の充実	保健給食課	食育推進事業 (食育実践事業)	児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができる知識及び態度を養うための支援策として各学校で取り組む食育に対して必要な費用(消耗品費・報償費)等の助成を行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明						
			【特筆事項】							
3-5-2 食育を家庭へとつなげる取組の推進	保健給食課	食育推進事業	給食献立表や食育だより等を配布し、望ましい食習慣を身につけることの大切さについて周知を図りました。また、親子で食べることの大切さについて考える機会の提供・児童が自ら実践できる力を育むことを目的に親子料理教室を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0	3.0
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明						
			【特筆事項】							

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-5-3 学校給食 を活用した 食育の 推進	保健給食課	食育推進事業	毎月16日に「ひむか地産地消の日」を設け、献立に郷土料理を入れるとともに、地場産物を積極的に活用する取組みを実施しました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値→実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】												

基本目標 3 社会教育・家庭教育の充実

主な施策 6 公立公民館等の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S ……4.5点以上 A ……4.0～4.4点 B ⁺ ……3.5～3.9点 B ……3.0～3.4点 C ……2.9点以下
B	3.0	15.0	5	

施策推進のための管理指標の状況

指標 1	公立公民館等*20の使用者数【生涯学習課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗 状況	使用者数は、各公民館ごとで前年度の増減に差異があるが、公立公民館全体(平成27年度は30館)の利用者数は昨年度に比べて減少している。	817,529 人	797,676 人	866,806 人	852,913 人	-	870,000 人

施策の 方向性	担当 課	関連事業等の 名称	関連事業等の概要	①予算化の 区分		②達成・進捗 状況		③ 自己 評価	小計 ①+② +③	施策の 方向性 の計		
				有り	無し	ハード	ハード 以外					
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等 管理運営費	生涯学習及び地域コミュニティ活動などの拠点施設として、市民が快適に利用できるよう、適切な管理運営を地域振興部と連携して行いました。	1.0			1.0	1.0	3.0	15.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			860,000人 ⇒ 852,913人	公民館利用者数								
【特筆事項】												
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等 学級講座開設 事業	市民の生きがいづくりや地域づくりを促進するため、公立公民館等において、地域住民の幅広い学習機会の提供に努め、多種多様な講座や移動公民館を実施しました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			31,500人 ⇒ 28,953人	公民館講座受講者延べ人数								
【特筆事項】 <目標値>生涯学習課所管分(中央公民館)1,500人、地域コミュニティ課所管分(中央公民館を除く公立公民館等)30,000人 <実績値>生涯学習課所管分(中央公民館)1,485人、地域コミュニティ課所管分(中央公民館を除く公立公民館等)27,468人												

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館等施設設備改善事業	公立公民館等の長期利用化を図るとともに、利用者の利便性を向上させるため、施設整備等を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】 平成28年度より中央公民館を除く全ての公立公民館等の施設設備改善について地域コミュニティ課へ事業を移管した。												
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館建設事業 (((仮称)加納地区公立公民館建設事業)	新市基本計画等に基づき、加納中校区の公立公民館の整備を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】 平成28年4月1日より供用開始した。												
3-6-1 公立公民館等の魅力の創出	生涯学習課	公立公民館建設事業 (青島地域複合型防災施設整備事業)	宮崎市公共施設経営基本方針に基づき、地域の主な公共施設を再配置し、青島地域複合型防災施設を整備するため建設用地購入及び建築主体工事等を行いました。	1.0		1.0		1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
【特筆事項】 施設整備においては、関係各課と連携して事業を実施した。 平成28年度より地域コミュニティ課へ事業を移管した。												

(5)基本目標別事務事業点検・評価シート3

(エ) 重点目標

重点施策 防災教育の充実

評価	平均値 (1)/(2)	施策の方向性の得点 (1)	関連事業等の個数 (2)	S……4.5点以上 A……4.0～4.4点 B+……3.5～3.9点 B……3.0～3.4点 C……2.9点以下
B ⁺	3.6	18.0	5	

施策推進のための管理指標の状況

指標	「宮崎市防災教育手引書」を活用した授業を実施した学校の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、手引書の改訂、実践報告を行っている。	-	26.3%	63.2%	69.0%	-	100%
指標	家庭・地域と連携した避難訓練を実施した学校の割合【学校教育課】	当初値 H24	H25	H26	H27	H28	目標値 H29
進捗状況	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、避難訓練を公開したり、取組を紹介したりしている。	-	27.3%	49.3%	28.7%	-	100%

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計
				有り	無し	ハード	ハード以外			
重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実	企画総務課	がんばろう東北子どもたちふれあい交流事業	平成27年度は、被災地の宮城県山元町へ宮崎東中学校他3校の生徒が訪問し、山下中学校と坂元中学校の生徒と交流を行うとともに、被災地の視察を通して、防災意識の高揚を図りました。	1.0			1.0	2.0	4.0	8.0
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			⇒							
【特筆事項】 山下中学校等における交流会に加えて、災害公営住宅やボランティアガイドの方による交流を通して、実際に現地での被災者から防災の重要性について広く学ぶことができたため、自己評価を2.0とした。										
重点-1 教育活動全体を通じた防災教育・減災教育の充実	学校教育課	ワーキンググループによる宮崎市防災教育手引書の活用促進	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、手引書の改訂、実践報告を行い、手引書の活用を図りました。		1.0		1.0	2.0	4.0	
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明						
			100%	⇒	69%	成果指標は、アンケート回答で授業において活用したことがあると答えた割合				
【特筆事項】 授業で手引書を活用した割合が平成26年度は63.2%であったが、平成27年度は69%になり、手引書活用へ向けた教師の意識の向上がみられた。										

施策の方向性	担当課	関連事業等の名称	関連事業等の概要	①予算化の区分		②達成・進捗状況		③自己評価	小計 ①+②+③	施策の方向性の計		
				有り	無し	ハード	ハード以外					
重点-2 さまざまな状況を想定した実効性のある避難訓練の推進	学校教育課	ワーキンググループによる地域と連携した避難訓練の公開実施	「宮崎市防災教育手引書」活用推進ワーキンググループにより、避難訓練の実践報告をアイビープラット ^{*21} にアップして、具体的な取組を広めるようにしました。		1.0		1.0	1.0	3.0	3.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			40校 ⇒ 21校	成果指標は、地域と連携した避難訓練を実施した学校数。これまでは県の調査結果からデータを得ていたが、平成27年度から県の調査がなくなったため、市危機管理課の調査データを基にしている。								
【特筆事項】												
重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成	企画総務課	がんばろう東北子どもたちふれあい交流事業(防災教育セミナーの開催)	本市の学校関係者の災害に対する意識を高めるため、東日本大震災において、学校現場で被災した教諭(現 宮城学院女子大学講師)による児童生徒の「心のケア」についてのセミナーを開催しました。	1.0			1.0	2.0	4.0	7.0		
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			△ ⇒ △									
【特筆事項】 各小中学校の防災主任に加えて、生徒指導教諭や養護教諭等、多分野の教諭が参加し、「心のケア」という新しい視点から防災に関するセミナーを開催することができたため、自己評価を2.0とした。												
重点-3 防災主任を中心としたリーダーの育成	教育情報研修センター	教職員研修運営事業(防災主任等研修)	防災教育の研修を行い、防災主任の資質向上を図りました。	1.0			1.0	1.0	3.0			
			成果指標(目標値⇒実績値)	成果指標の説明								
			1回 ⇒ 1回	研修を行った回数								

5 宮崎市教育委員会の総合評価

(1) 教育委員会活動

教育委員会活動については、平成27年度の教育委員会活性化プランに沿って、教職員、中学生、保護者との意見交換会をそれぞれ行い、本市の教育に関する課題を共有することができました。現場の意見をくみ取りながら、新しい施策に繋げていきたいと考えております。また、新教育委員会制度への移行に伴い設置された市長の主宰する宮崎市総合教育会議では、教育大綱の策定や喫緊の教育課題等について、市長と教育委員会が充実した意見交換を行うことができました。教育大綱の策定にあたっては、宮崎市教育ビジョンの基本理念、基本目標、重点目標を教育大綱として位置づけることについて市長から提案があり、平成28年1月に教育ビジョンを核とした宮崎市教育大綱が策定されました。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会会議）

教育委員会が管理・執行する事務につきましては、事務局から出された議案や報告に対し、積極的に議論や意見交換を行いました。

また、新教育委員会制度への移行に伴い、教育委員会会議の運営の在り方について見直しを行い、会議がより活発な議論や意見交換の場となるよう検討を重ねました。

(3) 教育委員会が管理・執行する事務を教育長に委任する事務等

本年度の評価については、平成27年度の結果と大きく変動するようなことはありませんでした。平均値は3.49点から3.44点に微減しましたが、本市の教育ビジョンの基本目標1から基本目標3及び重点目標について、事務局の自己点検・評価の結果を精査する限り、適正に執行できているといえます。ほとんどの事業が成果の水準を保っており、施策の推進のために事業を積極的に実施している傾向がみられます。

(4) まとめ

平成27年度は新教育委員会制度の初年度として、教育大綱の策定や教育委員会会議の見直しについて、より活発な意見交換を行いました。

また、市長の主宰する総合教育会議が新たに設置されましたが、これまで活性化プランのひとつとして開催しておりました市長との意見交換会と同様に、市長と教育委員会とが円滑に意思疎通を図り、宮崎市における教育の課題及び目指すべき姿について、考えを共有することができました。今後も、これまで以上に市長部局との連携を図り、みやざきっ子の育成に努めてまいります。

昨年度より、教育ビジョンの施策推進のための管理指標の状況についても各事業と連動させて進捗管理を行っております。平成29年に最終年度を迎える教育ビジョンの見直しも視野に、この点検評価によって明らかになった成果や課題を、事務の改善、発展に繋げていきます。

6 委員の意見等

◆施策の方向性に関連する事業等のポイント化について

(意見) 成果指標の目標値に対する実績値について、達成・進捗状況や自己評価のポイントと、整合性が取れると良い。成果指標の達成基準を設ける等、各課の評価にばらつきがでないような方法を検討されたい。

◆1-7 キャリア教育の充実について

(意見) 職場体験学習については、宮崎市の中学校において定着されてきた。もう少し高い評価でもいいのではないかと。職場体験の受け入れ先として、農家等の第一次産業や、行政機関が増えると良い。

◆2-1 教職員の資質向上について

(意見) 学校訪問した際に、教職員の指導力も高く、児童生徒の反応も非常に良く感じる。学校訪問の評価についてはもう少し高くても良いのではないかと。

◆2-4 安全でおいしい学校給食の提供について

(意見) 学校給食における除去食の提供について、関連事業として加えることはできないかと。

(説明) 除去食への取組については、単独校では多く行っている一方で、センターではなかなか対応が難しい現状があり、除去食ではなくアレルギーの少ない食材の利用等の検討を進めている。保健給食課の今後の課題でもあることから、点検評価の対象とすることもあわせて検討していく。

◆3-1 開かれた学校づくりの推進について

(意見) 各学校、情報の発信力にばらつきがあるように思う。学校のホームページの中には古い情報がそのまま残されているものもある。必要最小限の最新の情報は提供してもらいたい。学校が簡単に更新・管理できるシステムを整備すると良い。

◆全体を通しての意見

- 各事業の目的が明確になるような、成果指標の設定を検討する必要がある。
- 自己評価が1.0の事業が多く、現状維持である背景が伺い知れるが、特筆事項欄を活用して、事業に取り組んだ成果について発信できると良い。
- 評価を行うだけではなく、その過程において、反省や課題を見つけることが重要である。事業のチェック機能に続いて、改善点の発見と課題の修正を行い、PDCAサイクルを機能的に循環させていくべきである。
- 成果指標の目標値に対する実績値について、指標の達成状況が、それぞれのポイントと整合性が取れていない事業が見受けられる。指標と評価に差異がある場合、特筆事項での説明が必要ではないか。
- 来年度以降の検討事項として、教育という成果を可視化しづらいものを評価するという難しい面はあるが、成果が数値化できない事業について（成果指標を設定できない事業について）、何を根拠に評価を行ったのか、特筆事項欄を活用して説明ができると良い。

7 今後の対応

教育委員会が管理・執行を教育長へ委任する事務等について、ポイント化による点検評価を行っておりますが、事務局各課の自己評価において、点数の付け方にばらつきがある現状がありました。成果指標達成状況の判断に基準を設ける等、より均一な評価ができるようにポイント化の方法を検討していきます。

また、この点検評価を単なる事業の査定として終わらせることなくPDCAサイクルを意識した点検評価の内容となるように、事業成果の報告だけでなく各事業の改善点や課題についての記述を行い、特筆事項欄を充実させていきます。

用語解説

*1 CRT検査

Criterion Referenced Test の略 教科における年間の指導目標をどの程度達成しているかを確認するための検査。

*2 ICT

Information and Communication Technology の略 コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等を含む）などの情報コミュニケーション技術のこと。

*3 適応指導教室

不登校等の児童生徒及びその保護者、学校に対して不登校の解消や改善を目指した支援を行う市内6箇所に設置している教育施設。

*4 スクールアドバイザー

不登校解消を目指した児童生徒を支援する者。

*5 スクールアシスタント

生徒の悩み相談やいじめ・不登校対応、家庭や地域社会との連携等を支援する者。原則として、いじめ・不登校、非行等問題行動など生徒指導上の課題のある5学級以上の中学校を選定し、教職経験者や青少年団体指導者など地域の人材の中から教育委員会が選定する。

*6 スクールカウンセラー

いじめや不登校に関する保護者や教職員の相談ニーズに対応する専門的知識を有する者。

*7 スクールソーシャルワーカー

児童や生徒などが抱えている問題に対し福祉的なアプローチで問題解決を支援する専門職。

*8 特別支援教育スクールサポーター

通常の学級の特別な支援を要する児童生徒に対し、学習指導及び生活指導の補助を行う支援員。

*9 教育アシスタント

下肢等に障がいのある児童生徒の学習補助や生活介助等を行う支援員。

*10 フッ化物洗口

低濃度のフッ化物溶解液でブクブクうがいをすることで、口の中に定期的にフッ化物イオンを増やし、永久歯のむし歯予防をする。

*11 アナフィラキシー

アレルギー反応により、皮膚症状や消化器症状、呼吸器症状が複数同時にかつ急激に出現した状態をアナフィラキシーと言ひ、その中でも、血圧が低下して意識の低下や脱力をきたすような場合を、特にアナフィラキシーショックと呼び、ただちに対応しないと生命にかかわる重篤な状態であることを意味する。

*12 フッ化物応用

水道水や食品への添加のような全身応用と、フッ化物洗口やフッ化物塗布及びフッ化物配合歯磨剤などの局所応用に分類される。現在、日本で実施しているフッ化物応用は局所応用のみである。

*13 ALT

Assistant Language Teacher の略 教育委員会や学校で、外国語担当教員等の助手として職務に従事する外国人講師。

*14 蔵書率

各学校における学校図書館図書標準に基づく蔵書冊数に対する現在の蔵書冊数の割合。

*15 学校司書

学校図書館に関する業務を担当する職員。(教員を除く)

*16 待機児童

児童クラブ利用を希望しているが、定員に達しているため入会できない児童。

*17 CMS (コンテンツ・マネジメント・システム)

専門的な知識がなくても、簡単にWebサイトを更新・管理することができるシステム。

*18 評価委員

職種は、元校長などの学校関係者、幼稚園長、自治会長、民生委員・児童委員、PTA役員、青少協会会長、放課後子ども教室コーディネーター、まちづくり推進委員会会長など。

*19 九州都市中学生交流大会

九州4都市(熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市)の中学生の代表者が一堂に会し、交流活動を行う。

*20 公立公民館等

各地域の自治会が管理運営している自治公民館ではなく、「1中学校区に1館」の本市の基本的な考えに基づき設置された施設で、「〇〇公民館」「〇〇地区交流センター」「〇〇地区農村環境改善センター」「〇〇コミュニティセンター」の名称がある。

*21 アイビーネット

宮崎市教育情報研修センターが運営しているホームページ。

宮崎市教育委員会点検・評価会議設置要綱

(設置の趣旨)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条、及び宮崎市教育委員会事務委任規則第2条第13号に係る点検・評価を実施するため、宮崎市教育委員会点検・評価会議を設置する。（以下「点検・評価会議」という。）

(所掌事務)

第2条 点検・評価会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する事項。
- (2) 点検・評価報告書の作成に関する事項。
- (3) 点検・評価結果の議会報告及び公表に関する事項。
- (4) その他点検・評価に関する事項。

(組織)

第3条 会議は、教育長及び教育委員会委員をもって組織する。

- 2 会議の開催にあたっては、地教行法第26条第2項の規定に基づき学識経験を有する者2名の参加を求め、知見の活用を図る。
- 3 会議の会長には教育長をもって充てる。

(会議)

第4条 会議は、会長が招集し議長となる。

- 2 会長が不在のときは、教育長職務代理者が職務を代理する。

(事務局)

第5条 会議の事務局は、宮崎市教育委員会企画総務課とする。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、宮崎市教育委員会により決定する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年6月12日から施行する。